

第1章

履修要項

1 単位・進級・卒業

■単位

本学では、それぞれの授業科目に単位数が定められており、学則によって定められた授業科目を履修し、所定の試験に合格し、その授業科目に定められた単位を修得して卒業要件や資格取得の要件を満たしていくという、単位制をとっています。

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業により教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとします。(学則第14条)

授業時間は1コマ90分とし、これを2時間として計算します。

1単位を取得するために必要な授業時間数および授業外の学修時間数

授業方法	授業時間数	授業外学修時間数
講義	15時間	30時間
演習	30時間 別に定める科目は15時間	15時間 30時間
実験・実習・実技	45時間 別に定める科目は30時間	0 15時間

卒業論文・卒業研究等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めます。

■既修得単位の認定

入学前に他の大学や短期大学を卒業または中途退学した者で1年次に入学した者は、単位認定を申請できる。申請の時期は原則として入学後2週間以内とする。単位認定は30単位を超えない範囲で行う。申請の際には、定められた書類を所定の期日内に学部事務室に提出する。詳細については、入学後速やかに学部事務室で確認すること。

■進級

特別な事情を除いては、修得単位数にかかわらず、入学してから2年次まで順次進級します。

ただし、2年次末において卒業に必要な単位数を満たしていなければ、卒業延期となり留年となります。

■在学年限

在学最長期間は4年間で、4年を超えて在学することはできません。ただし、休学期間は在学期間に算入しません。

■卒業の認定

本学に2年以上在学し、学則に定める授業科目および単位数を修得した者については、卒業が認定されます。卒業に必要な単位数の詳細については、「第2章 教育課程」の、各学科の卒業要件単位数の項を参照してください。

■学位の授与

本学の卒業者には、短期大学士の称号が授与されます。学位に付記される学士の種類は次のとおりです。

学 科	学 位
現代コミュニケーション学科	短期大学士（現代コミュニケーション）
食物栄養学科	短期大学士（食物栄養）

2 履修登録

■履修登録

- (1) 履修登録は、前期と後期に行い、前期には前期開講科目のほか通年開講科目および前期集中科目を登録します。後期には後期開講科目および後期集中科目を登録します。
- (2) 履修する科目は、自らの興味・関心・将来の進路を考慮し、学務システムのポータルサイト (<https://portal.shizuoka-eiwa.ac.jp/campusweb/top.do>) 上のシラバス（講義内容）と、本冊子の各学科の「履修登録上の注意」、オリエンテーションでの説明、または当該年度の「開講授業時間割」等を確認して決めます。
- (3) 履修登録していない授業科目は、授業に出席し試験を受けても単位認定されません。
- (4) すでに単位認定を受けている科目は、再度履修しても単位認定されません。
- (5) 履修登録者が、基礎教育科目で10人以下、専門科目で5人以下の場合は、原則として当該授業科目は開講しません。
- (6) 履修登録はポータルサイト (<https://portal.shizuoka-eiwa.ac.jp/campusweb/top.do>) にログインして行います。「履修登録」をクリックし、登録作業を行います。
- (7) 必修科目を含めて履修が確定した全ての科目を登録します。
- (8) 登録は、ポータルサイトの画面に従い、間違いのないように十分に確認し、登録期間内に確実に済ませてください。

■抽選科目

受講者人数に制限がある科目は抽選を行います。

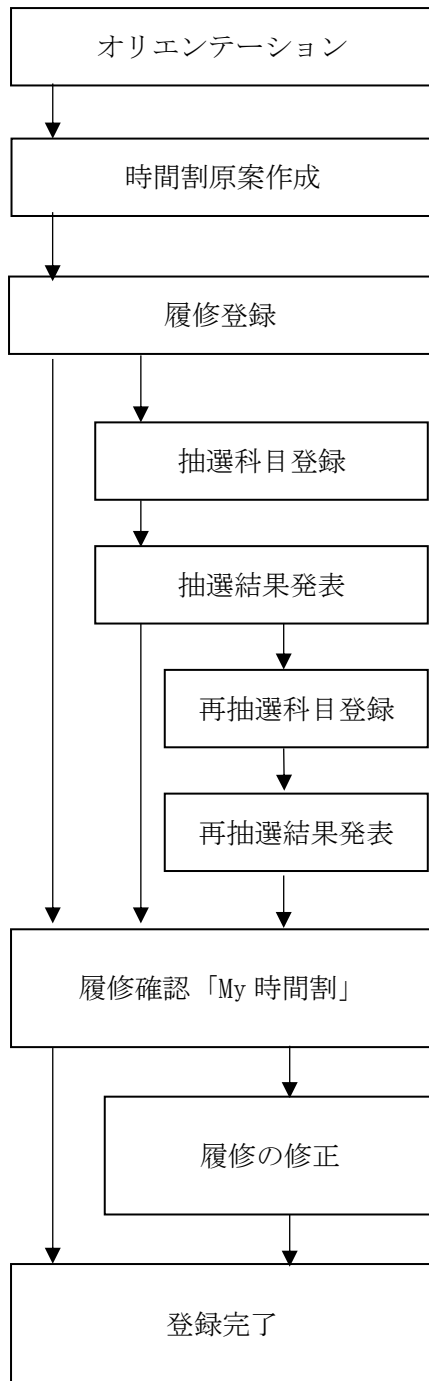
- (1) 抽選科目の履修登録期間が終了すると抽選が行われます。
- (2) 抽選結果はポータルサイト上で発表されます。履修希望者は必ず確認してください。「履修登録」画面で、科目が固定されていれば当選、科目が消えていれば落選です。当選した科目はそのまま登録され、原則として履修辞退はできません。
- (3) 抽選科目において定員に達しなかった科目は、再抽選が行われます。再抽選科目は抽選結果発表直後に登録ができます。その後再抽選が行われ、結果はポータルサイトに表示されます。
- (4) 抽選を行う科目の情報は、ポータルサイトにてお知らせします。

■履修登録上の注意

履修登録を始め、定期試験等、教務関係の日程は履修要項（本冊子）冒頭の年間行事予定表で確認してください。

- (1) 抽選に漏れた（落選した）科目は登録できません。
- (2) 抽選で当選した科目は、原則として履修辞退はできません。
- (3) 履修登録について相談が必要な者は、オリエンテーション期間中の「履修相談」時間に教員に確認するか、事前に教務委員の教員やゼミ担当教員または学部事務室職員に相談してください。

■履修登録の流れ



- ・前期、後期それぞれの授業開始日前に、各学科で履修についてのオリエンテーションがあります。必ず参加してください。オリエンテーション日程は事前にポータルから案内されます。
- ・履修登録控（裏表紙）に、履修したい授業科目を記入し、各自の時間割原案を作成してみる。
- ・履修する授業科目が決まったら、オリエンテーション日程表に記された登録期間に、ポータルサイトの「履修登録」から登録してください。
- ・抽選科目は、抽選を行います。
- ・抽選結果発表は、ポータルサイトの画面で確認できます。結果発表日時を過ぎて科目が固定されている場合は当選、科目の表示がなくなっている場合は落選となります。
- ・抽選結果発表後、受講者人数に余裕のある科目は、再抽選を行うための2度目の抽選科目登録を行います。ポータルサイトの「履修登録」画面に登録できる科目が表示されますので、必要に応じて登録をします。
- ・当選した抽選科目は、原則として履修辞退はできません。
- ・自身の履修登録状況は「My 時間割」にて確認できます。学部事務室で、「履修登録確認表」をもらう事もできます。
- ・次のような場合は、必ず学部事務室に修正を申し出て下さい。修正しないと正しく登録されず、単位の修得はできません。①コード番号、科目名、曜日、時限、単位数の誤り。②エラー表示がある場合。
- ・修正は、履修登録修正期間に行ってください。期間外の修正は受け付けません。

■登録科目の履修辞退

履修登録後の変更は原則として認めませんが、やむを得ない理由により履修を取りやめなければならない場合（選択科目に限る）は、期日を厳守し学部事務室へ申し出てください。履修辞退申請締切日は、年間行事予定表で確認してください。期限内に申請がない場合は受講しているものとみなします。通年科目の履修辞退は前期履修辞退期間に行い、後期になってからの履修辞退は無効とします。

■他学科開放科目の履修

幅広い学修を志したいと思う学生は、他学科の専門教育科目を履修し卒業単位に含めることができます。

(1) 履修可能科目

学科	科目群	授業科目
現代コミュニケーション学科	基幹科目	日本語コミュニケーション、日本語活用術、現代文化の中の日本語、メディア読解法Ⅰ、メディア読解法Ⅱ、コミュニケーション技法、Active EnglishⅠ、Active EnglishⅡ、生活経済学、メンタルヘルス、秘書学概論
	キャリア科目	TOEIC 英語、Media English、Writing&Discussion、ビジネス会計Ⅰ、ビジネス会計Ⅱ、経済学、経営学入門、Hospitality English、カラーコーディネート、ファッション文化論、ブライダルビジネスⅠ、アロマセラピー
食物栄養学科	基礎教育科目	日本茶アドバイザー、チーズ検定
	展開科目	食品加工学特別実習、食品加工学フィールド演習 特別研修（テーブルマナー）、フードコーディネート論、 テーブルマネージメント

(2) 履修人数に制限のある科目は、当該学科の学生の登録を優先します。

(3) 履修した単位は、基礎教育科目の選択科目の単位となります。ただし、現代コミュニケーション学科の学生が「フードコーディネート論」「テーブルマネージメント」を修得した場合は、キャリア科目の単位となります。

■人間社会学部の科目の履修

静岡英和学院大学と静岡英和学院大学短期大学部とは、大学間の交流と協力を推進し大学教育の活性化と充実に資するとともに、意欲ある学生に対して多様な学習機会を提供することを目的として2009年度より単位互換制度を実施しています。

これにより、次の静岡英和学院大学の授業科目を8単位を超えない範囲で履修することができ、卒業単位に含めることができます。(学則第17条 他大学における授業科目の履修等)

単位互換科目を修得した場合は、基礎教育科目の選択単位に含めます。履修人数には上限があるため、調整する場合があります。単位互換科目は次のとおりです。

学部共通	人間社会学科	コミュニティ福祉学科
英語リスニング &スピーキング I	心理学研究法	教育原理
英語リスニング &スピーキング II	心理学統計法 I	幼児教育課程総論
英語ボキャブラリービルディング	心理学実験 I	ソーシャルワーク論 I
フランス語 I	発達心理学	ソーシャルワーク論 II
フランス語 II	教育・学校心理学	ソーシャルワーク論 III
ドイツ語 I	学習・言語心理学	ソーシャルワーク論 IV
ドイツ語 II	心理学特殊講義	高齢者福祉論
スポーツ実技 I	ミクロ経済学	介護概論
スポーツ実技 II	マクロ経済学	障害者福祉論
地域創造フィールドワーク	マーケティング論	社会保障論 I
心理学基礎 (心理学概論)	簿記原理	社会保障論 II
人間社会総論	民法	公的扶助論
社会学基礎	商法	社会理論と社会システム
経済学基礎	ビジネスと法	福祉サービスの組織と経営
社会福祉総論 I	観光学	医療福祉論
社会福祉総論 II	文化観光論	社会調査法
地域福祉論 I	社会調査法	児童家庭福祉
地域福祉論 II	アンケート調査法	保育内容総論
	観光地域フィールドワーク論	社会的養護
	地域社会学	教育・学校心理学
	イギリス文化論	発達心理学
	Communicative English I・II	教師論
	国際ビジネスコミュニケーション	教育社会学
	国際観光コミュニケーション	教育の方法及び技術
	日本伝統文化論	幼児教育の方法と技術
	日本近代文化論	音楽療法入門
	演劇論	海外福祉現地研究
		ICTと福祉
		障害者スポーツ

■静岡大学農学部との単位互換

2013年度から単位互換協定に基づき、静岡大学農学部の一部の科目を6単位まで履修することができます。基礎教育科目の選択科目の単位となります。

3 授業

■授業時間

第 1 時限	8 : 5 0 ~ 1 0 : 2 0
第 2 時限	1 0 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0
昼休み	1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 5 0
第 3 時限	1 2 : 5 0 ~ 1 4 : 2 0
第 4 時限	1 4 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
第 5 時限	1 6 : 1 0 ~ 1 7 : 4 0
(第 6 時限)	(1 7 : 5 0 ~ 1 9 : 2 0)

授業は定期試験とは別に半期 15 コマを基本としています。休講となった授業は補講があります。学期末に補講期間がとってありますが日数が少ないので、金曜日の第 5 限目または平日の第 6 時限目や土曜日の午後の時間帯に行うことがあります。

■休講

- (1) 休講の連絡は、ポータルサイトで確認ができます。
- (2) 休講の掲示が出ていないにもかかわらず、開始時間を 20 分以上経過しても担当教員が現れない場合は、学部事務室に連絡して指示を受けてください。
- (3) 休講となった科目は、必ず補講があるので、ポータルサイトの掲示に注意してください。

■気象警報発令等による休講について

- (1) 気象警報発令等による休講は以下の通り扱います。

警報等 判断時点	特別警報	緊急安全 確保	暴風警報	大雨 or 洪水警報 かつ 交通遮断	避難指示
午前 7 時	終日休講		午前休講		
午前 11 時	-	-	午後休講		

「警報」・・・気象庁により静岡県中部南に発令されるもの

「緊急安全確保」「避難指示」・・・静岡市により駿河区に発令されるもの

「交通遮断」・・・藤枝駅～富士駅 の JR 東海在来線の不通をいう

- (2) 自宅や通学路を含む地区に警報等が出ている場合は、各自安全に十分配慮し、自宅待機や避難等の安全策を講じてください。
- (3) オンライン授業は原則休講になりません。
- (4) 上記以外（大規模地震等を含む）の場合において、授業を実施することが困難であると予想される場合には休講とすることがあります。
- (5) 気象警報発令等による休講については、大学ホームページ、ポータルサイトでお知らせします。

■遅刻・欠席について

学生には、興味・関心のある分野の勉学に没頭できるよう、さまざまな束縛から解放され、自由な時間と機会が与えられています。しかし、決して自由気ままに遅刻・欠席をしていいというわけではありません。毎日の授業は、学問を追求し自分を磨くために必要不可欠な要件です。遅刻・欠席のないようしっかりと自律し、自己管理してください。また、真剣に学ぼうとしている学生の迷惑にならないようにしてください。正当な理由なく、出席が規定の授業時間数の70%に満たない者の評価は「F（不合格）」となり、定期試験の受験資格が与えられません。

- (1) 20分以上の遅刻や離席は欠席として扱います。
- (2) 遅刻3回で欠席1回として扱います。

なお、20分以内であっても遅刻した場合や授業中に教室を出入りした場合は、入室・受講を断ることもあります。さらに授業中の私語等には退室を命じることもあります。

■欠席の手続き

- (1) 欠席が1週間以内の場合は、各自で授業科目担当教員に伝える。
- (2) 欠席が1週間以上にわたる場合、また集中講義を欠席する場合は、欠席の理由を示す書類（任意）を添えて「欠席届」（所定用紙）を学部事務室に提出する。
- (3) 就職採用試験等の受験（2年生対象）の場合は、キャリア支援課所定の「欠席届」に必要事項を記入のうえ、課長の許可印を受けて授業科目担当教員に提出する。
- (4) 進学・編入試験の受験の場合は、各自で授業科目担当教員に伝える。

■公認欠席（公欠）

公欠は、欠席を出席扱いにするという意味ではなく、あくまで欠席であるが、出席数が定期試験受験資格に関係してくるような場合には、考慮するという意味です。公認欠席として認められるのは、原則学部事務室に事前連絡のあったものに限りです。

■公認欠席届・欠席届の提出

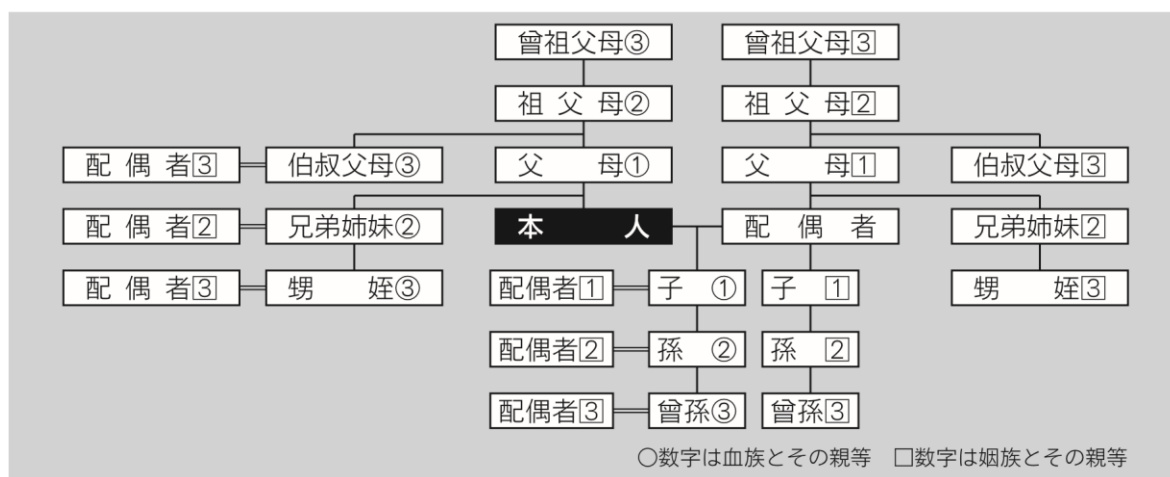
「欠席届」「公認欠席届」は、欠席最終日を含めて14日以内に提出する。14日を過ぎた場合は、事情の如何に関わらず原則として受理しません。

■公欠として認められる欠席

種類	内容及び日数	手続き	添付書類等
忌引	公欠表①を参照して下さい。	・学生は、忌引を電話等で学部事務室に連絡する。 ・登校後速やかに「公認欠席届」を学部事務室に提出する。	・会葬礼状等 ・「公認欠席届」に保証人の署名・捺印
実習	・栄養士校外実習期間	・学生は、事前に「公認欠席届」を学部事務室に提出する。	・「公認欠席届」に実習担当教員の確認印

課外活動	公式試合の出場、公式研究会への参加など大学が承認したものにつき原則として3日間とする。但し、リーグ戦等長期にわたる大会、遠隔地会場での出場についてはこの限りではない。	・学生は、事前に「公認欠席届」を学部事務室に提出する。	・「公認欠席届」に学生部長の確認印
伝染病・感染症	公欠表②を参照して下さい。	・学生又は家族等は、医師の診断（疑いも含む）があった旨を電話等で学部事務室に連絡する。 ・登校後速やかに「公認欠席届」を学部事務室に提出する。	・医師の診断書
国、地方自治体による行事への招へい等	主催者から学長宛の参加要請、委嘱等のあった場合であって、学長が認めたもの。	・参加することとなった学生は、事前に「公認欠席届」を学部事務室に提出する。	・本人宛又は学長宛の招へい通知・委嘱状等の写し
天災、交通機関の事故によるもの	風水害等天災、又は交通機関の事故により通学に支障を来たすことになった場合であって、復旧するまでの間	・学生又は家族等は、電話等で学部事務室に連絡する。 ・登校後速やかに「公認欠席届」を学部事務室に提出する。	・交通機関の発行する遅延証明書
その他	・出身校開催の大学説明会への参加 ・本学が必要と認めた行事への参加 ・本学が推奨するボランティア参加 ・その他学長が特に必要と認めた場合	・学生は、事前に「公認欠席届」を学部事務室に提出する。	・参加する行事の開催を証明するもの

[公欠 表①]



忌引きの扱いは3親等以内とし、忌引き日数は以下の通り。

1 親等以内… 7日 2 親等…………… 3日 3 親等…………… 1日

なお、忌引きとする期間は連続した日数とし、授業のない日や土日祝日を含んだ日となるので注意が必要。

〔公欠 表②〕

伝染病・感染症 下記の学校感染症に感染または感染の恐れがあると、医師から診断された場合は、医師の許可があるまで登校してはならない。出席停止期間については、他の学生ならびに教職員への感染を防ぐために、必ず守ること。

●第一種学校感染症

出席停止期間	治癒するまで
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、ペスト、マールブルク病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、南米出血熱、重症急性呼吸器症候群（SARS ウィルスによるもの）、痘瘡、中東呼吸器症候群（MERS ウィルスによるもの）、特定鳥インフルエンザ、これから発生する新型インフルエンザや新型重症急性呼吸器症候群を含む新感染症および指定感染症	

●第二種学校感染症

病名	出席停止期間
インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）	発症後 5 日を経過し、かつ、解熱後 2 日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで、又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹（はしか）	解熱した後 3 日を経過するまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺の膨張が発現した後 5 日を経過し、全身状態が良好になるまで
風疹（三日はしか）	発疹が消失するまで
水痘（水ぼうそう）	全ての発疹が痂皮化するまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消褪した後 2 日を経過するまで
結核	病状により医師が感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	病状により医師が感染の恐れがないと認めるまで

●第三種学校感染症

出席停止期間	病状により医師が感染の恐れがないと認めるまで
流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、腸管出血性大腸菌感染症（O-157 など）、腸チフス、パラチフス、コレラ、細菌性赤痢、マイコプラズマ肺炎や溶連菌感染症、ノロウィルスその他感染症	

10月11日には、外国人入国者の水際対策が大きく緩和されるなど、コロナ禍前の日常生活に戻る機運が高まっておりますが、本学では学生が安全安心な大学生活を送るために、引き続き下記ガイドラインのとおり感染症予防の徹底をはかってまいります、学生の皆様の協力が必要不可欠ですので、下記内容を確認し、学内での感染を防ぐよう常に意識してください。皆様の御理解と御協力をお願いします。

記

1 対策

- 規則正しい生活を心がけ、体温・体調等健康状態に気を付けて過ごしましょう。
- 校舎入口設置の体温検知装置により異常が検出された場合、教室には入らず保健室の指示（*入構フロー図）に従って行動してください。
- 校舎内では必ず不織布マスク（または同等品）を着用し、手洗い手指消毒を心がけ、引き続き三密にならないように気をつけましょう。
- 学内での会話は、人との距離を一定に保って話すように心掛けましょう。
- 食事をする時は会話を控え、食後はすみやかにマスクを着用し移動してください。
- 公共交通機関のバスや電車内での会話は、控えるようにしましょう。
- 風邪の症状（のどの痛み、発熱、咳等）により体調がすぐれない場合には、近くの医療機関を受診し、療養して下さい。学部事務室で公欠届けの手続きをしてください。

2 新型コロナウイルス感染症にかかる入構禁止の取り扱いについて

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、同感染症に関係する入構禁止の取り扱いについては次のとおりとします。

●入構禁止とする場合と解除条件

以下の①～③に該当する場合、学校保健安全法第19条に基づき、入構禁止として取り扱います。判明した段階で必ず学生課(054-264-8873)に連絡をする。

(対面授業等を欠席する場合、当該授業の開始時刻前に連絡することが公認欠席の必須条件の一つです)

	入構禁止とする場合	入構禁止解除条件
①	学生本人が新型コロナウイルスに感染した場合	【症状がある場合】 発症日から7日間経過し、かつ、症状軽快から24時間経過している場合、8日目から療養解除、入構を可能とする。
		【無症状の場合】 検体採取日から7日間を経過した場合には8日目に療養解除、入構を可能とする。 加えて、5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合には、5日間経過後（6日目）に療養解除を可能とする。
②	学生本人が濃厚接触者として特定された場合	原則として、感染者との最終接触日から5日間は自宅待機、入構禁止。

	※1 参照 学内(事業所内)感染については保健所が濃厚接触者の特定を行わないことになりました。不明の場合は学生課にご相談ください。	ただし、待機2、3日目の2回、抗原定性検査で陰性を確認できれば、3日目の陰性確認後から待機解除、入構を可能とする。
③	学生本人が発熱等の風邪の症状がみられる場合 (37.5℃以上の発熱※2、強いだるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)等)	速やかに受診、検査陰性であっても、症状が消失するまで自宅療養。
④	その他、学長が必要とする場合	学長の判断による

※海外からの入国後の待機期間は廃止。帰国後の入構制限はありません。

※留学生は母国への帰国時には必ず学生課へ「海外渡航届」を提出し、日本への入国後 登校再開初日に学生課へパスポートを持参すること。

※1 濃厚接触者は、感染者の発症2日前から適切な感染予防策をとって他者と生活を分離するまでの間に、次の条件の接触があった方が該当する。

- (1) 感染者と生活空間(食事や洗面浴室等の場)を共有している者(同居家族だけでなく、寮等において感染者と同室の者)
- (2) 1メートル以内の距離(互いに手を伸ばした際に触れる距離)で互いにマスクなしで会話した者
- (3) 1メートル超から2メートル未満(互いに手を伸ばした際に触れない距離)は保っていたが、必要な感染予防策なし(注1)で感染者と15分以上の接触(会話や飲食等)があった者
- (4) 大声を出す活動、呼吸が激しくなるような運動や身体接触がある運動を共にした者
- (5) 感染者からの距離に関係なく、換気等が不十分な空間に一緒にいた者
- (6) その他、感染予防対策が不十分な環境で感染者と接触した者

(注1) 必要な感染予防策については、マスクを着用していたかのみならず、マスクによって鼻や口が隙間なく覆われていたかを判断する。(※県健康福祉部感染症対策局新型コロナ対策企画課)

※2 体温が37.5℃以下でも平熱より明らかに高い熱が続く時は該当するものと判断すること。

(注意事項)

- ・入構禁止とする期間中は、原則として自宅待機とし、学内への立ち入りを禁止する。
- ・①②③の該当者は、登校再開初日に学部事務室へ「公認欠席届」を提出する。

なお、公認欠席が認められても出席扱いになるわけではないため、成績に影響があることは承知しておくこと。

ガイドラインは、年度当初に改正予定です。最新のものは各自ポータルサイトで確認しておいてください。

4 定期試験

■試験の種類・方法

定期試験…… 行事予定表に設定された各学期末の定期試験期間内に実施する単位認定のための試験を行います。前期定期試験中には前期履修科目の、後期定期試験中には後期履修科目および通年科目の試験を実施します。

追試験…… やむを得ない理由により定期試験を受験できなかった者に対し実施します。

再試験…… 原則として実施しません。授業担当教員が認めた場合に限り考慮します。

その他の試験…小テスト等、授業担当者が必要と認めた場合随時行います。

※追試験および再試験の受験には所定の手続きが必要です。

■受験資格の喪失

次のいずれかの項目に該当する者は受験資格が与えられません。

- ① 正当な理由がなく、出席が規定の授業時間数の 70%に満たない者
- ② 当該科目の履修登録をしてない者
- ③ 学費未納者

■受験上遵守すべき規則

- ① 試験場では、すべて監督者の指示に従うこと。
- ② 必ず学生証を携行して机の上に置き、監督者の確認を受けなくてはならない。
- ③ 学生証を忘れた者は受験できないので、学部事務室で所定の手続きをとり、「定期試験等受験票」の交付を受け、机の上に明示する。(受験票は必ず返却すること)
- ④ カバン等の荷物はまとめて椅子の下または足元に置く。
- ⑤ 机の上に置いてよいものは、学生証、筆記用具、その他持ち込みを許可された物だけとする。筆入れは机に出しておかない。
- ⑥ 教科書・ノート・参考書等の持込みは許可された場合に限る。
- ⑦ 携帯電話・スマートフォンの類は必ず電源を切り、カバン等の中に入れ足元に置く。
- ⑧ 時計本来の機能以外を持つ時計（文字等を出入力できる電子手帳仕様のもの等）の使用を禁止する。
- ⑨ 遅刻をしない。やむを得ない事情がある場合は、試験開始後 20 分までは受験を許可するが、これを超えた場合は認めない。
- ⑩ **試験監督者の許可があれば**、試験開始後 30 分経過してから退出することができる。
- ⑪ 答案には学生番号および氏名を明瞭に記入する。無記名の答案は無効とする。
- ⑫ 答案は必ず提出する。提出しない場合は不正行為とみなす。
- ⑬ 試験実施中、廊下や階段では静粛にし、その場に留まらないようにする。
- ⑭ 不正行為や不正行為と疑われるような行為は絶対にしてはならない。

■不正行為

不正行為または不正行為と疑われるような行為を行った場合、または、行ったと監督者が認めた場合は、直ちに退室させ、当該科目を不合格とし単位を認めない。また、「定期試験等の試験における不正行為者の処分に関する規程」に依り懲戒処分となります。さらに、不正行為の内容等によっては当該年度のすべての履修科目の単位が認められなくなります。

不正行為および不正行為とみなされる行為の例

- ・他人の学生証で受験すること。
- ・他人の答案を見て書くこと。他人に答案を見せること。
- ・他人から解答を教えてもらうこと。他人に解答を教えること。
- ・試験開始後、私語をすること。特に外国語での私語は厳禁する。
- ・カンニングペーパーおよびそれに類するものを持ち込むこと。使用すること。
- ・持ち込みが許可されていない文献等を持ち込むこと。使用すること。
- ・試験中に物品を貸借すること。
- ・受験上遵守すべき規則に反すること。
- ・監督者および補助監督者の指示に反する行為をすること。
- ・その他各項に類すると認められる行為。

■定期試験の欠席

- (1) やむを得ない事情により定期試験を欠席する場合は、**当該科目の試験開始時刻までに**、本人または保証人がその旨を学部事務室に連絡し指示を受けてください。
- (2) 期日までに手続きがない場合、また、無断で欠席した場合は、**受験放棄とみなし追試験の受験は認められません。**

■追試験

- (1) 追試験が認められる場合

ア 病気の場合	…………	医師の診断書等
イ 忌引きの場合	…………	会葬礼状等
ウ 就職試験や就職決定先の研修等	…………	キャリア支援課の証明書
エ 編入・進学試験	…………	受験を証明する書類
オ 公共交通機関（バス・鉄道）の遅延	…………	遅延証明書
カ その他特別な事情	…………	事由書（保証人連署）

- (2) 追試験受験のために必要な手続き

- 追試験を受験しようとする者は、**当該試験科目の開始時間までに**、欠席する試験科目と欠席理由を学部事務室に電話にて連絡する。
- 事前に連絡のあった学生に「追試験願」をお渡しする。
- 追試験を受験しようとする者は、**試験日を含めて7日以内に**、受け取った「追試験願」に必要事項を記入し、(1)の各項目に記した証明書類を添付し、学部事務室に提出する。
- 追試験発表日（その翌日まで）**に、受験料（1科目 500円）を学部事務室に納入する。
- 納入時に交付される「追再試験受験票」を受け取り、受験の際に学生証とともに机上に明示する。

- (3) 追試験および再試験の、追試験や再試験は実施しません。

■再試験（原則として実施しません）

- (1) 授業担当教員が認めた場合に限り実施について考慮します。
- (2) 再試験の受験手続
 - 再試験発表日（その翌日まで）**に、受験料（1科目 1000円）を学部事務室に納入する。
 - 納入時に交付される「追再試験受験票」を受け取り、受験の際に学生証とともに机上に明示する。
- (3) 再試験の成績評価

再試験の成績評価は、C（合格）またはF（不合格）のいずれかとします。

■定期試験に代わるレポート提出

- ・提出期限、提出場所を必ず確認する。提出期限に遅れたものは受取ることができません。
- ・学生番号、氏名、タイトル等の必要事項を忘れないこと。
- ・散逸しないようにホッチキス等で留めて提出のこと。
- ・一旦レポートボックスに提出したレポートは、再び取り出せません。
- ・ネットや他人のレポートのコピーは不正行為とみなします。

■障害のある学生の受験

定期試験等の受験に困難を伴う学生に対しては、可能な限りの配慮をします。

- (1) 該当する学生は「**定期試験等受験のための願出**」(所定用紙)を学部事務室へ提出してください。その理由が、疾病や負傷の場合は、医師の診断書等を添付してください。
- (2) 場合により、受験に困難を伴う理由について聞き取りを行うことがあります。
- (3) 配慮の方法及び内容等について、試験科目担当教員と協議してください。そして協議した結果を学部事務室へ報告してください。
- (4) 障害の種類及び程度により、以下のような対応が必要です。
 - ア 試験時間の延長(通常試験時間の1.5倍まで)
 - イ 個別の試験時間割の作成
 - ウ 別室受験
 - エ パソコン使用による受験(パソコン及びフラッシュメモリーは持参する)
 - オ 板書や指示カード等、文字による受験に関する指示
 - カ 試験をレポート等で代替する場合は、パソコン、録音テープの使用、また第三者による代筆
 - キ その他

5 成績評価

■ GPA 制度

成績評価をより明確にし、学生自身が自らの進捗を把握することにより、授業に対する意識を高め、学修に役立てることを目的として、2009 年度より従来の優、良、可、不可の評価方法に代わる GPA 制度を導入しています。

■ GPA (Grade Point Average)

GPA とは、履修登録科目の成績を S、A、B、C、F の 5 段階で評価し、S にグレードポイント (GP) 4 点、A に 3 点、B に 2 点、C に 1 点、F に 0 点を割り振り、それぞれの単位数を掛け、その合計ポイントを履修単位数の総和で割って出した平均点のことです。

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{成績評価グレードポイント})] \text{の総和}}{\text{履修登録科目の総単位数 (不合格科目の単位を含む)}}$$

■ 成績評価の方法・基準

成績評価は、定期試験の得点のみで評価するのではなく、授業担当教員がシラバスに明示した評価の方法・基準に基づき、準備学習、小テスト、レポート、日常の授業への取り組み等々を総合的に判断して出した成績 (総合点) をもとに、下記の判定基準により S から F までの評価をします。

■ 判定基準

評価	成績 (総合点)	判定	GP	内 容
S	100 点～90 点	合格	4	特に優秀な成績
A	89 点～80 点		3	すぐれた成績
B	79 点～70 点		2	その科目の要求を満たす成績
C	69 点～60 点		1	合格と認められる最低限の成績
F	59 点以下 および 履修放棄	不合格	0	合格ラインに達していない成績 期間内に履修辞退の手続きを取らなかったもの出席数不足 などで受験資格を喪失したもの
T	単位認定	GPA 対象外	—	留学や他大学での単位修得 (GP に換算しない)
P	成績評価はしない	合格 / 不合格 (F)	—	合格すれば単位を認定するが GP に換算しない

※指定された期限内に履修辞退の手続きを済ませたものは評価の対象から除きます。

※次の科目は、評価を P として扱います。

現代コミュニケーション学科

ツアー・プランニング研修、フィールドワーク I・II・III・IV・V

キャンパスワーク、キャリアプランニング演習

食物栄養学科

キャリアプランニング演習、インターンシップ、特別研修 (テーブルマナー)

■ GPA の利用

毎学期の GPA を参考に、学生一人ひとりに対して、ゼミ担任またはクラス担任からきめ細かな指導が行われます。場合によっては、保証人（保護者）との面談もあります。

現代コミュニケーション学科

- ・ GPA が 1.25 以下の場合、または単一学期の取得単位数が 10 単位以下の場合は、ゼミ担当教員による面談を行う。必要に応じて退学の勧告を行う場合がある。

食物栄養学科

- ・ GPA が 1.3 以下の場合、担任による面談を行う。
- ・ GPA が 1.00 以下の場合は、保証人に連絡のうえ、面談を行う。必要に応じて退学の勧告を行う場合がある。

■ 「成績通知表」・「成績証明書」

- (1) 「成績通知書」は、次学期のオリエンテーション（9月、4月）で配布します。2年生の後期の成績は卒業礼拝日に配布します。
- (2) 「成績通知書」には、履修科目の成績のほか、学期ごとの GPA および通算の GPA が表示されます。
- (3) 「成績通知書」は、保証人にも送付されます。
- (4) 「成績証明書」には、不合格科目は表示されません。GPA は通算のみ表示されます。

■ 成績不服申立制度

「成績通知表」に記載された成績評価に関して疑問がある場合や異議を申し立てたい場合は、成績発表日を含めて7日以内に「成績評価に関する不服申立書」（所定用紙）へ必要事項を記入のうえ、学部事務室に提出してください。ただし、正当な理由がある場合に限りです。

6 CAP 制度

学生が履修登録した科目に責任を持ち、自主的、意欲的な学習に取り組み、学んだ知識や技能をより深くかつ確実なものとするため、履修登録単位数に上限を設ける CAP 制度を導入し、下表に示すように年間の履修登録単位数に上限を設けています。なお、前期に不合格となった科目の単位数を、後期の履修に持ち越すことはできません。

■年間履修登録単位数の上限（年間）

【現代コミュニケーション学科】

学 年	1 年次	2 年次
上限単位数	38 単位まで	44 単位まで
特例超過単位	GPA が 3.5 以上の場合、年間 4 単位まで超過単位を認める	

(1) 1 年生については、前期試験結果による GPA が 3.5 以上の場合特例超過単位数を認めます。

(2) 2 年生については、前学年終了時点での GPA（前後期通算）が 3.5 以上の場合特例超過単位を認めます。

(3) なお、次の科目は CAP 制度を適用しません。

ア 集中講義科目

【食物栄養学科】（年間）

学年	1 年次	2 年次
上限単位数	46 単位まで	38 単位まで
特例超過単位	G P A が 3.5 以上の場合、年間 4 単位まで超過単位を認める	

(1) 2 年生について、前学年終了時点での G P A（前後期通算）が 3.5 以上の場合、特例超過単位を認めます。

(2) なお、次の各項に該当する科目は CAP 制度を適用しません。

ア 実験、実習、演習科目

イ 集中講義科目

7 その他

■科目ナンバリングについて

「科目ナンバリング」とは、教育課程の体系が理解しやすくなるよう、科目間の連携や科目内容等を表現する番号を付けることです。具体的には、学年、分野、その科目のカリキュラム上の分類、授業のタイプ等、その番号を見れば全科目の中でその科目がどのような位置にあるかを示したものとなります。

本学では、以下のコード分配規則によって番号付けをしています。

コード分配規則

学問分野 アルファベット 3桁	学部学科 数字1桁	科目の位置づけ 数字 2桁	対象学年 数字1桁	通し番号 数字 2桁	
学問分野を アルファベット 3文字で表します。 以下の表をご参照 ください。	1 人間社会学部 人間社会学科 2 人間社会学部 コミュニティ福祉学科 3 人間社会学部共通 4 短期大学部 現代コミュニケーション学科 5 短期大学部 食物学科 6 短期大学部共通	1 基礎教育科目	1 コモンベーシック	1 1年次から開講	01~99
			2 総合教養科目	2 2年次から開講	
			3 人間の理解	3 3年次から開講	
			4 自然と社会	4 4年次から開講	
			5 言語表現力		
			6 情報処理		
			7 健康管理		
	2 専門教育科目	0 教職科目			
		1 基礎科目 ・基本科目			
		2 基幹科目			
		3 展開科目			
		4 演習科目			
		5 キャリア科目			
		6 食物必修科目 7 食物選択科目			

学問分野細目

略称	細目英文	分野細目	略称	細目英文	分野細目
ACC	accounting	会計学	HSS	health/sports science	健康科学
AMP	anatomical physiology	解剖生理学	INF	Informatics	情報学
ART	art	芸術	INN	Information network	情報ネットワーク
BAS	basic seminar	基礎演習	INP	information processing	情報処理
BCM	biochemistry	生化学	INR	international relations	国際関係論
BIO	bioscience	生命科学	JAL	japanese literature	日本文学
BLG	biology	生物学	JLE	japanese language education	日本語教育
BRD	bridal	ブライダル	JLI	japanese linguistics	日本語学
BRM	bromatology	食品学	LAW	law	法学
BSN	business	ビジネス	LIE	literature in english	英米文学
BSS	basic science	基礎科学	LIG	literature in general	文学一般
CAE	career education	キャリア教育	LIN	linguistics	言語学
CHL	chinese literature	中国文学	MAN	management	経営学
CHR	christian studies	キリスト教学	MDC	medicalclark	医療事務
CHS	childhood science	保育・幼児教育	MOF	money/finance	金融・ファイナンス
CKS	cooking science	調理学	MSC	music	音楽
CML	comparative literature	比較文学	MUD	Multimedia database	マルチメディア・データベース
CMS	communication studies	コミュニケーション学	NTE	nutrition education	栄養教育学
COS	communication seminar	コミュニケーション演習	NTS	nutrition science	栄養学
CUA	cultural anthropology	文化人類学	PBH	public health	公衆衛生学
ECO	economics	経済学	PHS	philosophy	哲学
EDU	education	教育学	PRI	Principles of Informatics	計算基盤
ELE	english language education	英語教育	PSY	psychology	心理学
ENL	english linguistics	英語学	SCL	sociology	社会学
ENV	environmental science	環境学	SEM	seminar	専門演習・総合演習
FAB	fashion and beauty	ファッション・ビューティー	SIH	studies in humanity	人間学
FDH	food hygienics	食品衛生学	SLM	school lunch management	給食管理
FDS	food science	フードサイエンス	SOF	Software	ソフトウェア
FLE	foreign language education	外国語教育	STA	statistics	統計学
GGR	geography	地理学	SWS	social welfare and social work studies	社会福祉学
HEH	home economics/human life	家政・生活学一般	THE	thesis	卒業論文
HIS	history	歴史学	TRS	tourism studies	観光学

(例)
 ・番号が「CMS421101」：コミュニケーション学に位置づけられる現代コミュニケーション学科・専門教育科目・基本科目で1年生から履修できる科目(通し番号1番)
 ・番号が「CKS526102」：調理学に位置づけられる食物学科・専門教育科目・食物必修科目で1年生から履修できる科目(通し番号2番)
 ◎入学年度別の科目ナンバリングを参照の上、各科目の位置づけの確認等に活用してください。

科目ナンバリング 2022年度入学生用

短大教養共通	
ELE615101	Everyday English I
ELE615102	Everyday English II
CHR613101	キリスト教入門
CHR613102	キリスト教と現代
FLE615101	外国の言語と文化 (中国語) I
FLE615102	外国の言語と文化 (中国語) II
FLE615103	外国の言語と文化 (ハングル) I
FLE615104	外国の言語と文化 (ハングル) II
INP616101	コンピュータ基本演習
STA614101	データの見方
CMS614101	サイエンスコミュニケーション
CMS614102	産業・組織心理学
LIG613101	文学と人間
LIE613101	海外文化研究
HSS617101	健康余暇論
HSS617102	健康行動学
HSS617103	ヨガ I
HSS617104	ヨガ II
HSS617105	エアロビクス I
HSS617106	エアロビクス II
HSS617107	グループエクササイズ理論
PSY613101	心理学入門
PSY613102	失敗の心理学
ECO614101	静岡の経済
HEH613101	ホスピタリティ論
HEH614101	生活科学入門
MSC613101	音楽と文化
TRS422101	富士山学

現代コミュニケーション	
JLE422101	日本語文章表現法 I
JLE422102	日本語文章表現法 II
JLE422103	日本語コミュニケーション
JLE422104	日本語 I
JLE422105	日本語 II
ELE422101	基礎英語
ELE422102	Active English I
ELE422103	Active English II
ELE422104	英検Basic
ELE425101	TOEIC Bridge英語
ELE425102	TOEIC英語
ELE425103	Business English
ELE425104	Media English
ELE425105	Writing&Discussion
ELE425106	Hospitality English
ELE425107	Travel English
ELE425108	Reading Skills
INP422101	日商PC検定対策演習
CMS421101	現代コミュニケーション論
CMS421102	コミュニケーション心理学
CMS421103	コミュニケーション力
CMS421104	コミュニケーションデザイン
CMS422101	メディア読解法 I
CMS422102	メディア読解法 II
CMS422103	コミュニケーション技法
CMS425101	サービス接遇マナー
PSY422101	メンタルヘルス
ECO422101	生活経済学
ECO425101	経済学
MAN422101	現代企業論
MAN422103	流通論
MAN425101	マーケティング
MAN614101	経済学入門
ACC425101	ビジネス会計 I
ACC425102	ビジネス会計 II
HEH422101	消費生活論
HEH425102	生活文化論
HEH425103	居住環境論
HEH425104	福祉住環境論
HEH425106	インテリア販売
HEH425107	アロマセラピー
HEH422108	日本事情
HEH422109	ファイナンシャルプランナー
HEH425109	日本茶アドバイザー
HEH425110	インテリア総論
TRS425101	観光総論
TRS425102	地域観光論
TRS425103	観光交通論
TRS425104	国内観光資源
TRS425105	ツアープランニング研修
TRS425106	ホテルサービス論
TRS425107	海外観光資源
ART425101	カラーコーディネーター
BSN425101	秘書学概論
BSN425102	秘書学演習
BSN425103	商業デザイン
MDC425101	医療事務 I
MDC425102	医療事務 II
MDC425103	医療事務 III
MDC425104	医療事務 IV
MDC425105	調剤事務
MDC425106	介護事務
MDC425107	ホスピタルコンシエルジュ
FAB425101	ファッション文化論
FAB425102	ファッションビジネス論
FAB425103	ビューティービジネス I
FAB425104	ビューティービジネス II
FAB425105	ネイルケア・ネイルアート I
FAB425106	ネイルケア・ネイルアート II
BRD425101	ブライダルビジネス I
BRD425102	ブライダルビジネス II
BRD425103	ブライダルビジネス III
BRD425104	ブライダルミュージック
CAE422103	キャリアアプランニング演習
CAE425101	フィールドワーク I (インターンシップ)
CAE425102	フィールドワーク II (インターンシップ)
CAE425103	フィールドワーク III (インターンシップ)
COS422102	コミュニケーション演習
COS422103	プレゼンテーション演習
COS422201	キャンパスワーク
SEM422201	総合演習 I
SEM422202	総合演習 II

食物栄養	
JLE515101	日本語表現力
STA523201	データ解析論
ECO523201	食料経済学
ECO523202	消費流通論
HEH517101	日本茶アドバイザー
HEH517102	チーズ検定
HEH523201	テーブルマナー・レジメン
HEH523202	特別研修 (テーブルマナー)
HEH523203	フードスペシャリスト論
HEH523204	フードコーディネーター論
SWS527201	社会福祉概論
PBH526101	公衆衛生学概論
PBH526102	公衆衛生学各論
AMP526101	生理学
AMP527101	解剖生理学実験
AMP523201	運動生理学
AMP527102	解剖学
AMP527201	病理学
BCM526101	生化学
BCM527201	生化学実験
BRM526101	食品学総論
BRM526102	食品学各論
BRM526103	食品学実験
BRM526104	食品学基礎実験
BRM523201	食品加工学
BRM523101	食品加工学特別実習
BRM523102	食品加工学フィールド演習
FDH526101	食品衛生学総論
FDH527201	食品衛生学各論
FDH527202	食品衛生学実験
NTS526101	基礎栄養学
NTS527101	応用栄養学
NTS527102	臨床栄養学概論
NTS527201	臨床栄養学各論
NTS527202	応用栄養学実習
NTS527203	臨床栄養学実習
CKS526101	調理学
CKS526102	調理学実習 I
CKS526103	調理学実習 II
CKS527201	調理学実習 III
CKS527202	調理学実習 IV
SLM527101	給食計画論
SLM527201	給食実務論
SLM527202	給食管理実習 I
SLM527203	給食管理実習 II
SLM523201	校外実習
NTE526101	栄養指導論 I
NTE527201	栄養指導論 II
NTE527202	栄養指導実習 I
NTE527203	栄養指導実習 II
NTE527204	公衆栄養学概論
BLG523201	応用微生物学
BLG523202	バイオテクノロジー
BSS526101	基礎科学 I
BSS523101	基礎科学 II
FDS523201	食品鑑別演習
FDS523202	商品開発論
FDS523203	品質管理学
CAE523101	インターンシップ
CAE526102	キャリアアプランニング演習

科目ナンバリング 2023 年度入学生用

短大教養共通	
ELE615101	Everyday English I
ELE615102	Everyday English II
CHR613101	キリスト教入門
CHR613102	キリスト教と現代
FLE615101	外国の言語と文化（中国語）I
FLE615102	外国の言語と文化（中国語）II
FLE615103	外国の言語と文化（ハングル）I
FLE615104	外国の言語と文化（ハングル）II
INP616101	コンピュータ基本演習
STA614101	データの見方
CMS614101	サイエンスコミュニケーション
CMS614102	産業・組織心理学
LIG613101	文学と人間
LIE613101	海外文化研究
HSS617101	健康余暇論
HSS617102	健康行動学
HSS617103	ヨガ I
HSS617104	ヨガ II
HSS617105	エアロビクス I
HSS617106	エアロビクス II
HSS617107	グループエクササイズ理論
PSY613101	心理学入門
PSY613102	失敗の心理学
ECO614101	静岡の経済
HEH613101	ホスピタリティ論
HEH614101	生活科学入門
MSC613101	音楽と文化
TRS422101	富士山学

現代コミュニケーション	
JLE422101	日本語文章表現法 I
JLE422102	日本語文章表現法 II
JLE422103	日本語コミュニケーション
JLE422104	日本語 I
JLE422105	日本語 II
JLE422106	日本語活用術
JLE422107	現代文の中の日本語
ELE422101	基礎英語
ELE422102	Active English I
ELE422103	Active English II
ELE422104	英検Basic
ELE425101	TOEIC Bridge英語
ELE425102	TOEIC英語
ELE425103	Business English
ELE425104	Media English
ELE425105	Writing&Discussion
ELE425106	Hospitality English
ELE425107	Travel English
ELE425108	Reading Skills
INP422101	日商PC検定対策演習
CMS421101	現代コミュニケーション論
CMS421102	コミュニケーション心理学
CMS421103	コミュニケーション力
CMS421104	コミュニケーションデザイン
CMS422101	メディア読解法 I
CMS422102	メディア読解法 II
CMS422103	コミュニケーション技法
CMS425101	サービス接客マナー
PSY422101	メンタルヘルス
ECO422101	生活経済学
ECO425101	経済学
MAN422103	流通論
MAN425101	マーケティング
MAN425102	経営学入門
MAN425103	現代企業論
MAN425104	販売管理論
ACC425101	ビジネス会計 I
ACC425102	ビジネス会計 II
HEH425102	生活文化論
HEH425103	生活環境論
HEH425104	福祉住環境論
HEH425106	インテリア販売
HEH425107	アロマセラピー
HEH422108	日本事情
HEH422109	フィナンシャルプランナー
HEH425109	日本茶アドバイザー
HEH425110	衣食住 I
HEH425111	衣食住 II
HEH425112	フードビジネス
HEH425113	商業ラッピング
TRS425101	観光ビジネス概論
TRS425102	地域観光論
TRS425103	観光交通論
TRS425104	国内観光資源
TRS425105	ツアープランニング研修
TRS425106	ホテルサービス論
TRS425107	海外観光資源
ART425101	カラーコーディネート
BSN425101	秘書学概論
BSN425102	秘書学演習
BSN425103	商業デザイン
MDC425101	医療事務 I
MDC425102	医療事務 II
MDC425103	医療事務 III
MDC425104	医療事務 IV
MDC425105	調剤事務
MDC425106	介護事務
MDC425107	ホスピタルコンシェルジュ
FAB425101	ファッション文化論
FAB425102	ファッションビジネス論
FAB425103	ビューティービジネス I
FAB425104	ビューティービジネス II
FAB425105	ネイルケア・ネイルアート I
FAB425106	ネイルケア・ネイルアート II
BRD425101	ブライダル概論
BRD425102	ブライダルデザイン
CAE422103	キャリアプランニング演習
CAE425101	フィールドワーク I (インターンシップ)
CAE425102	フィールドワーク II (インターンシップ)
CAE425103	フィールドワーク III (インターンシップ)
COS422102	コミュニケーション演習
COS422103	プレゼンテーション演習
COS422201	キャンパスワーク
SEM422201	総合演習 I
SEM422202	総合演習 II

食物栄養	
JLE515101	日本語表現力
STA523201	データ解析論
ECO523201	食料経済学
ECO523202	消費流通論
HEH517101	日本茶アドバイザー
HEH517102	チーズ検定
HEH523201	テーブルマネージメント
HEH523202	特別研修(テーブルマナー)
HEH523203	フードスペシャリスト論
HEH523204	フードコーディネーター論
SWS527201	社会福祉概論
PBH526101	公衆衛生学概論
PBH526102	公衆衛生学各論
AMP526101	生理学
AMP527101	解剖生理学実験
AMP523201	運動生理学
AMP527102	解剖学
AMP527201	病理学
BCM526101	生化学
BCM527201	生化学実験
BRM526101	食品学総論
BRM526102	食品学各論
BRM526103	食品学実験
BRM526104	食品学基礎実験
BRM523201	食品加工学
BRM523101	食品加工学特別実習
BRM523102	食品加工学フィールド演習
FDH526101	食品衛生学総論
FDH527201	食品衛生学各論
FDH527202	食品衛生学実験
NTS526101	基礎栄養学
NTS527101	応用栄養学
NTS527102	臨床栄養学概論
NTS527201	臨床栄養学各論
NTS527202	応用栄養学実習
NTS527203	臨床栄養学実習
CKS526101	調理学
CKS526102	調理学実習 I
CKS526103	調理学実習 II
CKS527201	調理学実習 III
CKS527202	調理学実習 IV
SLM527101	給食計画論
SLM527201	給食実務論
SLM527202	給食管理実習 I
SLM527203	給食管理実習 II
SLM523201	校外実習
NTE526101	栄養指導論 I
NTE527201	栄養指導論 II
NTE527202	栄養指導実習 I
NTE527203	栄養指導実習 II
NTE527204	公衆栄養学概論
BLG523201	応用微生物学
BLG523202	バイオテクノロジー
BSS526101	基礎科学 I
BSS523101	基礎科学 II
FDS523201	食品鑑別演習
FDS523202	商品開発論
FDS523203	品質管理学
CAE523101	インターンシップ
CAE526102	キャリアプランニング演習

現代コミュニケーション学科 カリキュラムマップ (2023 年度版)

本学では学科ごとにディプロマポリシーを定めています。ディプロマポリシーとはどのような能力・資質を備えた学生に学位を授与するのかという方針です。

この表は各授業が学科のディプロマポリシーのどの項目と連動し、受講することでどのような力が伸ばすことができるのかを示しています。履修する上で参考にしてみてください。

【現代コミュニケーション学科のディプロマポリシー】

1. (知識・理解) 社会、文化、自然についての知識・教養と、自らの専攻する学問分野の基本的、専門的な知識を修得している。
2. (技能・能力) 自らのキャリアを視野に入れ、専門分野の資格取得、検定合格を目指すことにより得られる技能・能力と、社会人として求められる実務能力であるコミュニケーション力、基礎的英語力、コンピュータ技能を修得している。
3. (問題発見・解決力) 修得した知識、技能を総合的に活用することで、自ら課題を見つけ、その解決に向けての方法を提案することができる。
4. (ジェネリックスキル) 他者の思いや考えを受け止め、理解するとともに、自らの思いや考えも的確に表現、発信し、円滑なコミュニケーションを取って協働することができる。
5. (市民性の涵養) 現代社会の市民として、多様な人々の存在、様々な文化、価値観の存在を理解し、建学の精神である愛と奉仕の実践に基づき、社会や他者のために主体的に行動し貢献できる。
6. (自律性・生涯学習力) 自らの目標を絶えず持ち、その実現のための学修行動に主体的、自律的に取り組むことができる。

基礎教育科目

科目名	1 知識・ 理解	2 技能・ 能力	3 問題 発見・ 解決力	4 ジェネ リック スキル	5 市民性 の涵養	6 自律性 ・生涯 学習力
キリスト教入門	○			○	○	○
キリスト教と現代	○		○	○	○	○
文学と人間	○			○		
音楽と文化	○				○	
海外文化研究	○			○		
心理学入門	○			○		
失敗の心理学	○			○		
ホスピタリティ論		○		○	○	
静岡の経済	○		○			
生活科学入門	○		○			○
データの見方	○		○			○
サイエンスコミュニケーション	○	○		○	○	○
産業・組織心理学	○			○		
Everyday English I	○	○		○	○	
Everyday English II	○	○		○	○	
外国の言語と文化(中国語) I	○	○			○	
外国の言語と文化(中国語) II	○	○			○	
外国の言語と文化(ハンダール) I	○	○			○	○
外国の言語と文化(ハンダール) II	○	○			○	○
コンピュータ基本演習	○	○				
ヨガ I	○	○	○	○	○	○
ヨガ II	○	○	○	○	○	○
エアロビクス I	○	○	○	○	○	○
エアロビクス II	○	○	○	○	○	○
グループエクササイズ理論	○	○	○	○	○	○
健康余暇論	○	○	○	○	○	○
健康行動学	○	○	○	○	○	○
富士山学	○				○	○

専門教育科目

科目名	1 知識・ 理解	2 技能・ 能力	3 問題 発見・ 解決力	4 ジェネ リック スキル	5 市民性 の涵養	6 自律性 ・生涯 学習力
コミュニケーション演習	講義毎のシラバスを確認してください。					
プレゼンテーション演習	講義毎のシラバスを確認してください。					
キャンパスワーク		○	○	○	○	○
総合演習 I	講義毎のシラバスを確認してください。					
総合演習 II	講義毎のシラバスを確認してください。					
TOEIC Bridge英語	○	○				
TOEIC英語	○	○		○		○
Business English	○	○		○		○
Media English	○	○		○		○
Writing&Discussin	○	○		○		○
Reading Skills	○	○	○	○		○
商業デザイン	○	○	○	○		○
ビジネス会計 I	○	○				○
ビジネス会計 II	○	○				○
マーケティング	○	○	○	○		
経済学	○		○			
経営学入門	○	○	○	○	○	○
現代企業論	○	○	○	○		
販売管理論	○	○	○			
フードビジネス						
商業ラッピング						
Hospitality English	○	○		○	○	○
Travel English	○	○		○	○	○
観光ビジネス概論	○	○	○			
地域観光論		○				○
海外観光資源	○	○				○
観光交通論			○			
国内観光資源	○			○		○
ブライダル概論	○	○	○	○	○	○
ブライダルデザイン	○	○	○	○	○	○
ホテルサービス論			○	○	○	
医療事務 I	○	○	○			○
医療事務 II	○	○	○			○
医療事務 III	○	○	○			○
医療事務 IV	○	○	○			○
ホスピタルコンシェルジュ	○	○	○			○
調剤事務	○	○	○			○
介護事務	○	○	○			○
サービス接遇マナー		○			○	○
カラオケ・オーディオ	○	○				
ファッション文化論	○	○				
ファッションビジネス論	○	○				
ビューティービジネス I	○	○				
ビューティービジネス II	○	○				
ネイルケア・ネイルアート I	○	○			○	○
ネイルケア・ネイルアート II	○	○			○	○
アロマセラピー	○	○	○	○	○	○
生活文化論			○	○		
生活環境論	○		○			
衣食住 I		○				
衣食住 II		○				
福祉住環境論			○			
インテリア総論	○	○				
ツアープランニング研修	○	○	○	○	○	○
フィールドワーク I (インターンシップ)	○	○	○	○	○	○
フィールドワーク II (インターンシップ)	○	○	○	○	○	○
フィールドワーク III (インターンシップ)	○	○	○	○	○	○
フィールドワーク IV (インターンシップ)	○	○	○	○	○	○
フィールドワーク V (インターンシップ)	○	○	○	○	○	○

専門教育科目

科目名	1 知識・ 理解	2 技能・ 能力	3 問題 発見・ 解決力	4 ジェネ リック スキル	5 市民性 の涵養	6 自律性 ・生涯 学習力
現代コミュニケーション論	○		○			
コミュニケーション心理学	○	○		○		
コミュニケーション力	○	○		○		
日本語文章表現法 I	○		○		○	
日本語文章表現法 II	○		○		○	
日本語コミュニケーション	○	○		○		
日本語活用術						
現代文の中の日本語						
メディア読解法 I	○	○	○		○	○
メディア読解法 II	○	○	○		○	○
コミュニケーション技法		○		○		
日本事情	○	○		○		
日本語 I	○	○				
日本語 II	○	○				
基礎英語	○	○				
Active English I	○	○		○	○	
Active English II	○	○		○	○	
英検Basic	○	○		○		○
日商PC検定対策演習	○	○				
生活経済学						○
メンタルヘルス	○			○		
コミュニケーションデザイン	○		○			○
キャリアプランニング演習	○	○	○	○	○	
秘書学概論	○	○				
秘書学演習	○	○				
ファイナンシャルプランナー						

食物栄養学科 カリキュラムマップ (2023 年度版)

本学では学科ごとにディプロマポリシーを定めています。ディプロマポリシーとはどのような能力・資質を備えた学生に学位を授与するのかという方針です。

この表は各授業が学科のディプロマポリシーのどの項目と連動し、受講することでどのような力が伸ばすことができるのかを示しています。履修する上で参考してみてください。

【食物栄養学科のディプロマポリシー】

1. (知識・理解) 社会、文化、自然についての知識・教養と、栄養士として必要とされる基本的、専門的な知識を修得している。
2. (技能・能力) 栄養士として多様化する社会に健康・食育・調理の専門家として幅広く対応できる技術・能力を修得している。
3. (問題発見・解決力) 修得した知識、技術を活かし、栄養士として人間のライフステージ毎に健康に係る諸問題について理解し、地域住民に対して適切な解決策を摸索・提案できる。
4. (ジェネリックスキル) 他者の思いや考えを受け止め、理解するとともに、自らの思いや考えも的確に表現、発信し、円滑なコミュニケーションを取って協働することができる。
5. (市民性の涵養) 現代社会の市民として、多様な人々の存在、様々な文化、価値観の存在を理解し、建学の精神である愛と奉仕の実践に基づき、社会や他者のために主体的に行動し貢献できる。
6. (自律性・生涯学習力) 栄養士としての目標を絶えず持ち、その実現のための学修行動に主体的、自律的に取り組むことができる。

基礎教育科目

科目名	1 知識・ 理解	2 技能・ 能力	3 問題 発見・ 解決力	4 ジェネ リック スキル	5 市民性 の涵養	6 自律性 ・生涯 学習力
キリスト教入門	○			○	○	○
キリスト教と現代	○		○		○	○
文学と人間	○			○		
音楽と文化	○			○		
海外文化研究	○			○		
心理学入門	○			○		
失敗の心理学	○			○		
ホスピタリティ論		○			○	
静岡の経済	○		○			
生活科学入門	○					
データの見方	○		○			○
サイエンスコミュニケーション	○	○		○	○	○
産業・組織心理学	○			○		
Everyday English I	○	○		○	○	
Everyday English II	○	○		○	○	
日本語表現力	○		○			○
外国の言語と文化 (中国語) I	○	○				
外国の言語と文化 (中国語) II	○	○				
外国の言語と文化 (ハングル) I	○	○				○
外国の言語と文化 (ハングル) II		○		○	○	○
コンピュータ基本演習	○	○				
ヨガ I	○	○	○	○		○
ヨガ II	○	○	○	○		○
エアロビクス I	○	○	○	○		○
エアロビクス II	○	○	○	○		○
グループエクササイズ理論	○	○	○	○		○
健康余暇論	○	○	○			○
健康行動学	○	○	○			
日本茶アドバイザー	○	○				
チーズ検定	○	○	○			○
富士山学	○				○	○

専門教育科目 (選択科目)

科目名	1 知識・ 理解	2 技能・ 能力	3 問題 発見・ 解決力	4 ジェネ リック スキル	5 市民性 の涵養	6 自律性 ・生涯 学習力
食品衛生学各論	○	○				○
応用栄養学	○	○	○			
社会福祉概論	○			○	○	○
解剖学	○					
病理学	○					
解剖生理学実験	○	○				
生化学実験	○	○				
食品衛生学実験	○	○	○			○
臨床栄養学概論	○	○	○	○	○	○
臨床栄養学各論	○		○	○		○
応用栄養学実習	○	○	○	○	○	
臨床栄養学実習	○	○	○			○
栄養指導論 II		○	○	○		
公衆栄養学概論	○	○	○			○
栄養指導実習 I		○	○	○		○
栄養指導実習 II		○	○	○		○
給食計画論	○	○	○	○		○
給食実務論	○	○	○	○	○	○
調理学実習 III	○	○	○	○		○
調理学実習 IV	○	○	○	○		○
給食管理実習 I		○	○		○	○
給食管理実習 II		○	○		○	○

専門教育科目 (必修科目)

科目名	1 知識・ 理解	2 技能・ 能力	3 問題 発見・ 解決力	4 ジェネ リック スキル	5 市民性 の涵養	6 自律性 ・生涯 学習力
公衆衛生学概論	○	○	○			○
公衆衛生学各論	○	○	○			○
生理学	○					
生化学	○					
食品学総論	○	○	○			
食品学各論	○	○	○			
食品衛生学総論	○	○				
食品学実験	○	○	○	○		
基礎栄養学	○	○				
栄養指導論 I	○	○	○	○	○	○
調理学	○	○	○			
調理学実習 I	○	○	○	○		○
調理学実習 II	○	○				
食物学基礎実験	○	○	○	○		
基礎科学 I	○	○	○			
キャリアプランニング演習	○	○	○	○	○	○

専門教育科目 (展開科目)

科目名	1 知識・ 理解	2 技能・ 能力	3 問題 発見・ 解決力	4 ジェネ リック スキル	5 市民性 の涵養	6 自律性 ・生涯 学習力
インターンシップ					○	○
校外実習		○			○	○
基礎科学 II	○					
運動生理学	○	○				○
食料経済学					○	
データ解析論	○		○			○
消費流通論	○	○				
フードスペシャリスト論	○		○	○		○
フードコーディネーター論	○			○	○	○
テーブルマナー・マネジメント	○	○	○	○	○	○
食品鑑別演習	○	○	○			○
食品加工学		○				
食品加工学特別実習		○	○	○	○	
食品加工学フィールド演習		○	○	○	○	○
品質管理学	○	○	○	○	○	○
商品開発論		○	○	○	○	○
特別研修 (テーブルマナー)	○	○	○		○	○
応用微生物学	○	○		○		
バイオテクノロジー	○					

実務経験のある教員等による授業科目

担当する授業科目に関連した実務経験を有する者が、その実務経験を十分に生かしつつ、実践的教育を行っている科目等を以下に示します。

静岡英和学院大学短期大学部 共通

授業科目	単位数	担当教員	実務経験
実務経験のある教員による授業科目			
産業・組織心理学	2	重森雅嘉	公益財団法人研究所心理研究室勤務
音楽と文化	2	菊池みち子	オルガニスト
ヨガⅠ	1	佐鳥朋子	インストラクター
ヨガⅡ	1	佐鳥朋子	インストラクター
エアロビクスⅠ	1	佐鳥朋子	インストラクター
エアロビクスⅡ	1	佐鳥朋子	インストラクター
グループエクササイズ理論	2	佐鳥朋子	インストラクター
単位数合計	12		

現代コミュニケーション学科

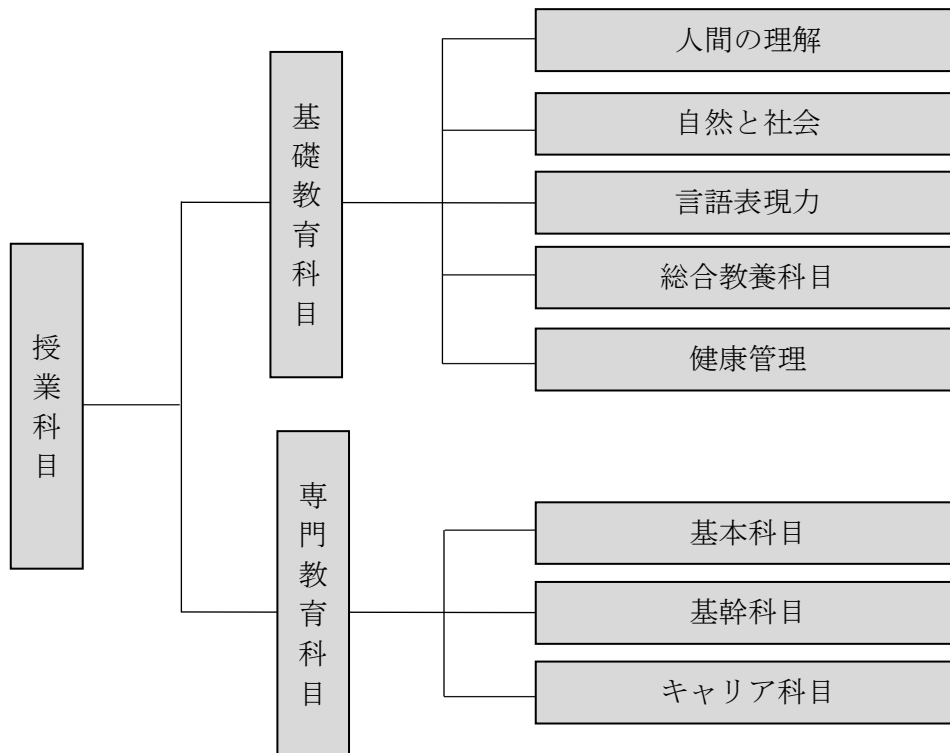
授業科目	単位数	担当教員	実務経験
実務経験のある教員による授業科目			
ホスピタリティ論	2	伊藤優子	ツアーコンダクター
観光ビジネス概論	2	伊藤優子	ツアーコンダクター
地域観光論	2	伊藤優子	ツアーコンダクター
海外観光資源	2	伊藤優子	ツアーコンダクター
観光交通論	2	伊藤優子	ツアーコンダクター
国内観光資源	2	伊藤優子	ツアーコンダクター
ホテルサービス論	2	伊藤優子	ツアーコンダクター
サービス接客マナー	2	石垣加代子	客室乗務員
ブライダル概論	2	伊藤優子	ツアーコンダクター
医療事務Ⅰ	2	木下秀兆	診療報酬請求事務
医療事務Ⅱ	2	木下秀兆	診療報酬請求事務
医療事務Ⅲ	2	木下秀兆	診療報酬請求事務
医療事務Ⅳ	2	木下秀兆	診療報酬請求事務
介護事務	2	水野真理	介護報酬請求事務
アロマセラピー	2	関野朋子	アロマショップ、教室経営
ビューティービジネスⅠ	2	徳差淳子	トータルビューティーサロン経営
ビューティービジネスⅡ	2	徳差淳子	トータルビューティーサロン経営
ファッション文化論	2	小島真代	パーソナルカラーアドバイザー
ファッションビジネス論	2	小島真代	パーソナルカラーアドバイザー
カラーコーディネート	2	小島真代	カラーコーディネーター・ファッションアドバイザー
ビジネス会計Ⅰ	2	大畑真也	税理士
ビジネス会計Ⅱ	2	大畑真也	税理士
コミュニケーションデザイン	2	吉田結子	広告やWebなどのデザイン
商業デザイン	2	吉田結子	広告やWebなどのデザイン
ファイナンシャルプランナー	2	安藤絵理	ファイナンシャルプランナー
実践的教育から構成される授業科目			
フィールドワークⅠ	1		ホテル等でのインターンシップ
フィールドワークⅡ	1		ホテル等でのインターンシップ
フィールドワークⅢ	1		ホテル等でのインターンシップ
フィールドワークⅣ	1		ビジネスマッチングへの参加
フィールドワークⅤ	1		ビジネスマッチングへの参加
単位数合計	59		

食物栄養学科

授業科目	単位数	担当教員	実務経験
実務経験のある教員による授業科目			
食品学総論	2	小林直之	食品企業での食品の研究・開発
食品学各論	2	小林直之	食品企業での食品の研究・開発
食品学実験	1	小林直之	食品企業での食品の研究・開発
食物学基礎実験	1	小林直之	食品企業での食品の研究・開発
食品加工学	1	小林直之	食品企業での食品の研究・開発
商品開発論	1	小林直之	食品企業での食品の研究・開発
社会福祉概論	2	植田智也	病院等施設ソーシャルワーカー
臨床栄養学概論	2	久保田美保子	静岡市立静岡病院栄養管理科勤務
臨床栄養学実習	1	久保田美保子	静岡市立静岡病院栄養管理科勤務
栄養指導論Ⅱ	2	杉本富士子	児童福祉施設、行政機関での栄養相談
公衆栄養学概論	2	杉本富士子	児童福祉施設、行政機関での栄養相談
臨床栄養学各論	2	新井英一	管理栄養士
解剖学	2	遠藤博之	医師
病理学	2	岩井、田中、千原	医師
実践的教育から構成される授業科目			
インターンシップ	1	望月裕子	企業へのインターンシップ
栄養指導実習Ⅰ	1	望月裕子	栄養士実習
栄養指導実習Ⅱ	1	望月裕子	栄養士実習
応用栄養学実習	1	片山一男	栄養士実習
臨床栄養学実習	1	片山一男	栄養士実習
調理学実習Ⅰ	1	小川ももこ	栄養士実習
調理学実習Ⅱ	1	田崎仁美	栄養士実習
調理学実習Ⅲ	1	小川ももこ	栄養士実習
調理学実習Ⅳ	1	前田節子	栄養士実習
給食管理実習Ⅰ	1	田崎仁美	栄養士実習
給食管理実習Ⅱ	1	田崎仁美	栄養士実習
食品加工学特別実習	1	前田節子	栄養士実習
特別研修（テーブルマナー）	1		
単位数合計	36		

第2章

教育課程



卒業要件単位数

		必修	選択必修	選択	
基礎教育科目	人間の理解	4	—	12	16 単位以上
	自然と社会	—	—		
	言語表現力	—	—		
	情報処理	—	—		
	健康管理	—	—		
専門教育科目	基本科目	—	4	—	46 単位以上
	基幹科目	6	—	16	
	キャリア科目	—	—	20	
合計		10	4	48	62 単位以上

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期間	担 当 者	備考
		必修	選択				
人間の 理解	キリスト教学入門	2		1	前期	佐々木謙一	
	キリスト教と現代	2		1	後期	佐々木謙一	
	文学と人間		2	1・2	後期	芦澤久江	
	音楽と文化		2	1・2	後期	菊池みち子	
	海外文化研究		2	1・2	後期	芦澤久江	
	心理学入門		2	1・2	前期	重森雅嘉	
	失敗の心理学		2	1・2	前期集中	重森雅嘉	
	ホスピタリティ論		2	1・2	前期	伊藤優子	
自然と 社会	静岡の経済		2	1・2	前期	児玉和人	
	生活科学入門		2	1・2	前期	栗山恵都子	
	データの見方		2	1・2	後期	重森雅嘉	
	サイエンスコミュニケーション		2	1・2	前期	重森雅嘉	
	産業・組織心理学		2	1・2	後期	重森雅嘉	
	富士山学		2	1・2	後期集中	芦澤久江・児玉和人・伊藤優子・重森雅嘉・栗山恵都子・リチャード・村松純光	
言語 表現 力	Everyday English I		1	1・2	前期	リチャード	必修4単位 選択12単位 以上
	Everyday English II		1	1・2	後期	リチャード	
	外国の言語と文化（中国語）I		1	1・2	前期	望月裕之	
	外国の言語と文化（中国語）II		1	1・2	後期	望月裕之	
	外国の言語と文化（ハングル）I		1	1・2	前期	朴 鳳順	
	外国の言語と文化（ハングル）II		1	1・2	後期	朴 鳳順	
情報 処理	コンピュータ基本演習		1	1・2	前期 後期	服部えり子（前期A・後期B）	
健 康 管 理	ヨガI		1	1・2	前期	佐鳥明子(JUフィットネスインストラクター)	
	ヨガII		1	1・2	後期	佐鳥明子(JUフィットネスインストラクター)	
	エアロビクスI		1	1・2	前期	佐鳥明子(JUフィットネスインストラクター)	
	エアロビクスII		1	1・2	後期	佐鳥明子(JUフィットネスインストラクター)	
	グループエクササイズ理論		2	1・2	前期集中	佐鳥明子(JUフィットネスインストラクター)	
	健康余暇論		2	1・2	前期	赤田信一	
	健康行動学		2	1・2	前期集中	赤田信一	
食物栄養 学科開放 科目	食品加工学特別実習		1	1・2	集中	前田節子	
	食品加工学フィールド演習		1	1・2		開講せず	
	特別研修（テーブルマナー）		1	2	集中	オムニバス	
	フードコーディネーター論		1	2	前期	齋藤華乃子	
	テーブルマネージメント		1	2	後期	齋藤華乃子	
	日本茶アドバイザー		2	1・2	前期集中	加納昌彦（日本茶アドバイザー）	
	チーズ検定		1	1・2	前期集中	中川麻紀子	

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期間	担 当 者	備考	
		必修	選択					
静岡英和学院大学との単位互換科目	英語リスニング&スピーキングⅠ		1	1・2	前期	ハリントン(A)、クレイナー(B)	必修 4 単位選択 12 単位以上	
	英語リスニング&スピーキングⅡ		1	1・2	後期	ハリントン(A)、クレイナー(B)		
	英語ボキャブラリービルディング		1	1・2	後期	ピーターズ		
	フランス語Ⅰ		1	1・2	前期	今野喜和人		
	フランス語Ⅱ		1	1・2	後期	今野喜和人		
	ドイツ語Ⅰ		1	1・2	前期	小柴浩稔		
	ドイツ語Ⅱ		1	1・2	後期	小柴浩稔		
	スポーツ実技Ⅰ			1	1・2	前期・後期		祝原 豊(バスケットボールA・B)
						前期・後期		伊藤麻希(ダンスA・B)
スポーツ実技Ⅱ			1	1・2	前期・後期	江間諒一(フィットネスA・B)		
					前期・後期	黒岩一雄(バドミントンA・B)		
静岡大学農学部との単位互換科目	フィールド科学演習Ⅱ		1	1・2	集中			
	先端フィールド科学演習		1	1・2	集中			

【食物栄養学科開放科目について】

- ・基礎教育科目の選択科目の単位になります。

【静岡英和学院大学との単位互換科目について】

- ・静岡英和学院大学の授業科目を8単位を超えない範囲で履修できます。
- ・基礎教育科目の選択科目の単位になります。

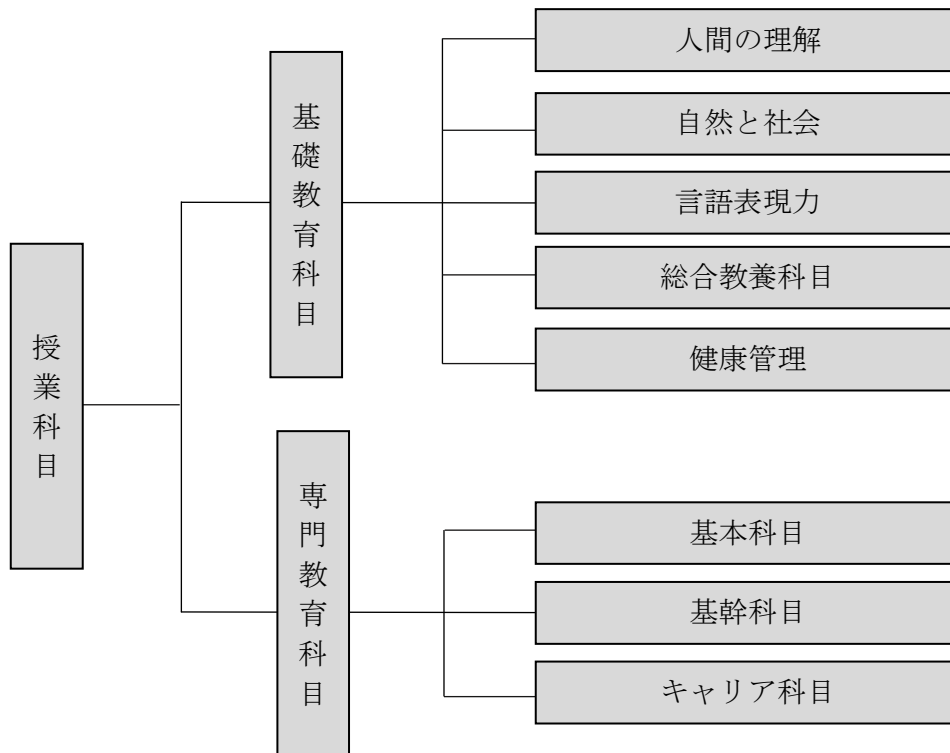
【静岡大学農学部との単位互換科目について】

- ・静岡大学農学部の授業科目を6単位まで履修できます。
- ・基礎教育科目の選択科目の単位になります。

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期間	担 当 者	備考	
		必修	選択					
基本 科目	現代コミュニケーション論		2	1・2	前期	村松純光	4 単位 選択必修	
	コミュニケーション心理学		2	1・2	後期	重森雅嘉		
	コミュニケーション力		2	1・2	後期	柴田 敏 (A前期・B後期)		
基 幹 科 目	日本語と コミュニケーション	日本語文章表現法Ⅰ		2	1・2	前期	村松純光	留学生 用科目
		日本語文章表現法Ⅱ		2	1・2	後期	柴田 敏	
		日本語コミュニケーション		2	1・2	後期	村松純光	
		メディア読解法Ⅰ		2	1・2	前期	柴田 敏	
		メディア読解法Ⅱ		2	1・2	後期	村松純光	
		コミュニケーション技法		2	1・2	前期	柴田 敏 (A前期・B後期)	
		日本事情		2	1	前期	鈴木 瑞	
		日本語Ⅰ	1		1	前期	逢坂里恵	
		日本語Ⅱ	1		1	後期	逢坂里恵	
	外国語	基礎英語	1 *		1・2	前期・後期	芦澤久江 (A前期・B後期)	*日本人用科目
		Active EnglishⅠ		2	1・2	前期	リチャード	
		Active EnglishⅡ		2	1・2	後期	リチャード	
		英検 Basic		2	1・2	前期	芦澤久江	
	コンピ ユータ	日商 PC 検定対策演習		1	1・2	前期・後期	服部えり子 (A前期・B後期)	
	社会 生活	生活経済学		2	1・2	後期	栗山恵都子	必修 6 単位 選択 16 単位
		消費生活論		2	1・2	前期	栗山恵都子	
メンタルヘルス			2	1・2	前期	重森雅嘉		
コミュニケーションデザイン			2	1・2	前期集中	吉田結子		
ツアープランニング研修			1	1・2	後期集中	伊藤優子		
就業 力	キャリアプランニング演習	1 *		1	後期	芦澤久江・児玉和人・伊藤優子・重森雅嘉・栗山恵都子・リチャード・村松純光	*日本人用科目	
	秘書学概論		2	1・2	前期	大石雄子		
	秘書学演習		1	1・2	後期	大石雄子		
	ファイナンシャルプランナー		2	1・2	前期集中	安藤絵里		
演 習	コミュニケーション演習	1		1	前期	芦澤久江・児玉和人・伊藤優子・重森雅嘉・栗山恵都子・リチャード・村松純光		
	プレゼンテーション演習	1		1	後期	芦澤久江・児玉和人・伊藤優子・重森雅嘉・栗山恵都子・リチャード・村松純光		
	キャンパスワーク		2	2	前期	重森雅嘉		
	総合演習Ⅰ	1		2	前期	芦澤久江・児玉和人・伊藤優子・重森雅嘉・栗山恵都子・リチャード・村松純光		
	総合演習Ⅱ	1		2	後期	芦澤久江・児玉和人・伊藤優子・重森雅嘉・栗山恵都子・リチャード・村松純光		

ユニット	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期間	担 当 者	備考	
		必修	選択					
イングリッシュ ユ・コミュニケーション	TOEIC Bridge 英語		2	1・2	前期	芦澤久江	選択 20 単位以上 履修	
	TOEIC 英語		2	1・2	後期	マックローリー		
	Business English		2	1・2	前期	リチャード		
	Media English		2	1・2	後期	芦澤久江		
	Writing & Discussion		2	1・2	後期	リチャード		
	Reading Skills		2	1・2	前期	芦澤久江		
ビジネスマネジ メント	商業デザイン		2	1・2	後期集中	吉田結子		
	ビジネス会計 I		2	1・2	前期	田島泉美		
	ビジネス会計 II		2	1・2	後期	田島泉美		
	マーケティング		2	1・2	後期	児玉和人		
	経済学		2	1・2	後期	児玉和人		
	経営学入門		2	1・2	前期	児玉和人		
	現代企業論		2	1・2	前期	児玉和人		
販売管理論		2	1・2	後期	児玉和人			
イングリッシュ ユ・コミュニケー ション、観光 共通	Hospitality English		2	1・2	前期	リチャード		
	Travel English		2	1・2	後期	リチャード		
観 光	観光総論		2	1・2	前期	伊藤優子		これらのユニッ ト群から 1 つを 選択のうえ、ユ ニットの全科目 の履修を原則と する
	地域観光論		2	1・2	後期	伊藤優子		
	海外観光資源		2	1・2	後期	伊藤優子		
	観光交通論		2	1・2	後期	伊藤優子		
	国内観光資源		2	1・2	前期	伊藤優子		
医療事務	医療事務 I		2	1・2	前期	木下秀兆 (ソラスト)		
	医療事務 II		2	1・2	前期	木下秀兆 (ソラスト)		
	医療事務 III		2	1・2	前期	木下秀兆 (ソラスト)		
	医療事務 IV		2	1・2	前期	木下秀兆 (ソラスト)		
	ホスピタルコンシェルジュ		2	1・2	後期	木下秀兆 (ソラスト)		
	調剤事務		2	1・2	後期	木下秀兆 (ソラスト)		
	介護事務		2	1・2	前期	水野真理 (ソラスト)		
観光、ホテル・ブライダル 共通	サービス接遇マナー		2	1・2	後期	石垣加代子		
ファッション・ビューティ、ホテル・ブライダル、ライフ・デザイン 共通	カラーコーディネート		2	1・2	前期	小島真代		

ユニット	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期間	担 当 者	備考
		必修	選択				
ファッション・ ビューティ	ファッション文化論		2	1・2	後期	小島真代	
	ファッションビジネス論		2	1・2	前期	小島真代	
	ビューティービジネスⅠ		2	1・2	前期	徳差淳子	
	ビューティービジネスⅡ		2	1・2	後期	徳差淳子	
	ネイルケア・ネイルアートⅠ		2	1・2	前期	関 容子・望月美沙	
	ネイルケア・ネイルアートⅡ		2	1・2	後期	関 容子・望月美沙	
ホ テ ル・ ブライダル	ブライダルビジネスⅠ		2	1・2	前期	伊藤優子	
	ブライダルビジネスⅡ		2	1・2	後期	松永直子・深澤祐介	
	ブライダルビジネスⅢ		2	1・2	後期	開講せず	
	ホテルサービス論		2	1・2	後期	伊藤優子	
	ブライダルミュージック		2	1・2	前期	開講せず	
ラ イ フ・ デ ザ イン	アロマセラピー		2	1・2	前期	関野朋子	
	生活文化論		2	1・2	後期	栗山恵都子	
	居住環境論		2	1・2	後期	栗山恵都子	
	インテリア販売		2	1・2	後期	栗山恵都子	
	福祉住環境論		2	1・2	前期	栗山恵都子	
	インテリア総論		2	1・2	後期	栗山恵都子	
キ ャ リ ア サ ポ ー ト	フィールドワークⅠ (インターンシップ)		1	1・2	前期集中	伊藤優子	
	フィールドワークⅡ (インターンシップ)		1	1・2		開講せず	
	フィールドワークⅢ (インターンシップ)		1	1・2		開講せず	
	フィールドワークⅣ (地域連携)		1	1・2	前期集中	児玉和人	
	フィールドワークⅤ (地域連携)		1	1・2		開講せず	



卒業要件単位数

		必修	選択必修	選択	
基礎教育科目	人間の理解	4	—	12	16 単位以上
	自然と社会	—	—		
	言語表現力	—	—		
	情報処理	—	—		
	健康管理	—	—		
専門教育科目	基本科目	—	4	—	46 単位以上
	基幹科目	6	—	16	
	キャリア科目	—	—	20	
合計		10	4	48	62 単位以上

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期 間	担 当 者	備 考
		必修	選択				
人間の 理解	キリスト教学入門	2		1	前期	佐々木謙一	
	キリスト教と現代	2		1	後期	佐々木謙一	
	文学と人間		2	1・2	後期	芦澤久江	
	音楽と文化		2	1・2	後期	菊池みち子	
	海外文化研究		2	1・2	後期	芦澤久江	
	心理学入門		2	1・2	前期	重森雅嘉	
	失敗の心理学		2	1・2	前期集中	重森雅嘉	
	ホスピタリティ論		2	1・2	前期	伊藤優子	
自然と 社会	静岡の経済		2	1・2	前期	児玉和人	
	生活科学入門		2	1・2	前期	栗山恵都子	
	データの見方		2	1・2	後期	重森雅嘉	
	サイエンスコミュニケーション		2	1・2	前期	重森雅嘉	
	産業・組織心理学		2	1・2	後期	重森雅嘉	
	富士山学		2	1・2	後期集中	芦澤久江・児玉和人・伊藤優子・重森雅嘉・栗山恵都子・リチャード・村松純光	
言語 表現 力	Everyday English I		1	1・2	前期	リチャード	必修4単位 選択12単位 以上
	Everyday English II		1	1・2	後期	リチャード	
	外国の言語と文化（中国語）I		1	1・2	前期	望月裕之	
	外国の言語と文化（中国語）II		1	1・2	後期	望月裕之	
	外国の言語と文化（ハングル）I		1	1・2	前期	朴 鳳順	
	外国の言語と文化（ハングル）II		1	1・2	後期	朴 鳳順	
情報 処理	コンピュータ基本演習		1	1・2	前期 後期	服部えり子（前期A・後期B）	
健 康 管 理	ヨガI		1	1・2	前期	佐鳥明子(JUフィットネスインストラクター)	
	ヨガII		1	1・2	後期	佐鳥明子(JUフィットネスインストラクター)	
	エアロビクスI		1	1・2	前期	佐鳥明子(JUフィットネスインストラクター)	
	エアロビクスII		1	1・2	後期	佐鳥明子(JUフィットネスインストラクター)	
	グループエクササイズ理論		2	1・2	前期集中	佐鳥明子(JUフィットネスインストラクター)	
	健康余暇論		2	1・2	前期	赤田信一	
	健康行動学		2	1・2	前期集中	赤田信一	
食 物 栄 養 学 科 開 放 科 目	食品加工学特別実習		1	1・2	集中	前田節子	
	食品加工学フィールド演習		1	1・2		開講せず	
	特別研修（テーブルマナー）		1	2	集中	オムニバス	
	日本茶アドバイザー		2	1・2	前期集中	加納昌彦（日本茶アドバイザー）	
	チーズ検定		1	1・2	前期集中	中川麻紀子	

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期 間	担 当 者	備 考	
		必修	選択					
静岡英和学院大学との単位互換科目	英語リスニング&スピーキングⅠ		1	1・2	前期	ハリントン(A)、クレイナー(B)	必修 4 単位選択 12 単位以上	
	英語リスニング&スピーキングⅡ		1	1・2	後期	ハリントン(A)、クレイナー(B)		
	英語ボキャブラリービルディング		1	1・2	後期	ピーターズ		
	フランス語Ⅰ		1	1・2	前期	今野喜和人		
	フランス語Ⅱ		1	1・2	後期	今野喜和人		
	ドイツ語Ⅰ		1	1・2	前期	小柴浩稔		
	ドイツ語Ⅱ		1	1・2	後期	小柴浩稔		
	スポーツ実技Ⅰ			1	1・2	前期・後期		祝原 豊(バスケットボールA・B)
						前期・後期		伊藤麻希(ダンスA・B)
スポーツ実技Ⅱ			1	1・2	前期・後期	江間諒一(フィットネスA・B)		
					前期・後期	黒岩一雄(バドミントンA・B)		
静岡大学農学部との単位互換科目	フィールド科学演習Ⅱ		1	1・2	集中	/		
	先端フィールド科学演習		1	1・2	集中			

【食物栄養学科開放科目について】

- ・基礎教育科目の選択科目の単位になります。

【静岡英和学院大学との単位互換科目について】

- ・静岡英和学院大学の授業科目を8単位を超えない範囲で履修できます。
- ・基礎教育科目の選択科目の単位になります。

【静岡大学農学部との単位互換科目について】

- ・静岡大学農学部の授業科目を6単位まで履修できます。
- ・基礎教育科目の選択科目の単位になります。

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期 間	担 当 者	備 考
		必修	選択				
基本 科目	現代コミュニケーション論		2	1・2	前期	村松純光	4単位 選択必修
	コミュニケーション心理学		2	1・2	後期	重森雅嘉	
	コミュニケーション力		2	1・2	後期	柴田 敏 (A前期・B後期)	
日本 語と コミュ ニケー ション	日本語文章表現法Ⅰ		2	1・2	前期	村松純光	留学生 用科目
	日本語文章表現法Ⅱ		2	1・2	後期	柴田 敏	
	日本語コミュニケーション		2	1・2	後期	村松純光	
	日本語活用術		2	1・2	前期	村松純光	
	現代文の中の日本語		2	1・2	後期	村松純光	
	メディア読解法Ⅰ		2	1・2	前期	柴田 敏	
	メディア読解法Ⅱ		2	1・2	後期	村松純光	
	コミュニケーション技法		2	1・2	前期	柴田 敏 (A前期・B後期)	
	日本事情		2	1	前期	鈴木 瑞	
	日本語Ⅰ	1		1	前期	逢坂里恵	
	日本語Ⅱ	1		1	後期	逢坂里恵	
基 幹 科 目	基礎英語	1*		1・2	前期・後期	芦澤久江 (A前期・B後期)	*日本人用科目
	Active EnglishⅠ		2	1・2	前期	リチャード	
	Active EnglishⅡ		2	1・2	後期	リチャード	
	英検 Basic		2	1・2	前期	芦澤久江	
コン ピュ ータ	日商 PC 検定対策演習		1	1・2	前期・後期	服部えり子 (A前期・B後期)	
社 会 生 活	生活経済学		2	1・2	後期	栗山恵都子	必修6単位 選択16単位
	メンタルヘルス		2	1・2	前期	重森雅嘉	
	コミュニケーションデザイン		2	1・2	前期集中	吉田結子	
	ツアープランニング研修		1	1・2	後期集中	伊藤優子	
就 業 力	キャリアプランニング演習	1*		1	後期	芦澤久江・児玉和人・伊藤優子・重森雅嘉・栗山恵都子・リチャード・村松純光	*日本人用科目
	秘書学概論		2	1・2	前期	大石雄子	
	秘書学演習		1	1・2	後期	大石雄子	
	ファイナンシャルプランナー		2	1・2	前期集中	安藤絵里	
演 習	コミュニケーション演習	1		1	前期	芦澤久江・児玉和人・伊藤優子・重森雅嘉・栗山恵都子・リチャード・村松純光	
	プレゼンテーション演習	1		1	後期	芦澤久江・児玉和人・伊藤優子・重森雅嘉・栗山恵都子・リチャード・村松純光	
	キャンパスワーク		2	2	前期	重森雅嘉	
	総合演習Ⅰ	1		2	前期	芦澤久江・児玉和人・伊藤優子・重森雅嘉・栗山恵都子・リチャード・村松純光	
	総合演習Ⅱ	1		2	後期	芦澤久江・児玉和人・伊藤優子・重森雅嘉・栗山恵都子・リチャード・村松純光	

ユニット	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期間	担 当 者	備考
		必修	選択				
イングリッシュ・コミュニケーション	TOEIC Bridge 英語		2	1・2	前期	芦澤久江	
	TOEIC 英語		2	1・2	後期	マックローリー	
	Business English		2	1・2	前期	リチャード	
	Media English		2	1・2	後期	芦澤久江	
	Writing & Discussion		2	1・2	後期	リチャード	
	Reading Skills		2	1・2	前期	芦澤久江	
	Hospitality English(共通)		2	1・2	前期	リチャード	
	Travel English(共通)		2	1・2	後期	リチャード	
ビジネスマネジメント	商業デザイン		2	1・2	後期集中	吉田結子	選択 20 単位以上 履修
	ビジネス会計 I		2	1・2	前期	田島泉美	
	ビジネス会計 II		2	1・2	後期	田島泉美	
	マーケティング(共通)		2	1・2	後期	児玉和人	
	経済学		2	1・2	後期	児玉和人	
	経営学入門		2	1・2	前期	児玉和人	
	現代企業論		2	1・2	前期	児玉和人	
	販売管理論(共通)		2	1・2	後期	児玉和人	
フード・ビジネス	フードビジネス論		2	1・2	後期	児玉和人	
	商業ラッピング		2	1・2	後期	小泉昌代	
	カラーコーディネート(共通)		2	1・2	前期	小島真代	
	マーケティング(共通)		2	1・2	後期	児玉和人	
	販売管理論(共通)		2	1・2	後期	児玉和人	
	サービス接遇マナー(共通)		2	1・2	後期	石垣加代子	
	フードコーディネート論(他 学科開放)	1	1	1・2	前期	齋藤華乃子	
	テーブルマネジメント(他 学科開放)	1	1	2	後期	齋藤華乃子	
観光・ブライダル	観光ビジネス概論		2	1・2	前期	伊藤優子	これらのユニット 群から 1 つを 選択のうえ、ユ ニットの全科目 の履修を原則と する
	地域観光論		2	1・2	後期	伊藤優子	
	海外観光資源		2	1・2	後期	伊藤優子	
	観光交通論		2	1・2	後期	伊藤優子	
	国内観光資源		2	1・2	前期	伊藤優子	
	ブライダル概論		2	1・2	前期	伊藤優子	
	ブライダルデザイン		2	1・2	後期	松永直子・深澤祐介	
	ホテルサービス論		2	1・2	後期	伊藤優子	
	Hospitality English(共通)		2	1・2	前期	リチャード	
	Travel English(共通)		2	1・2	後期	リチャード	
	サービス接遇マナー(共通)		2	1・2	後期	石垣加代子	
	カラーコーディネート(共通)		2	1・2	前期	小島真代	
医療事務	医療事務 I		2	1・2	前期	木下秀兆 (ソラスト)	
	医療事務 II		2	1・2	前期	木下秀兆 (ソラスト)	
	医療事務 III		2	1・2	前期	木下秀兆 (ソラスト)	
	医療事務 IV		2	1・2	前期	木下秀兆 (ソラスト)	
	ホスピタルコンシェルジュ		2	1・2	後期	木下秀兆 (ソラスト)	
	調剤事務		2	1・2	後期	木下秀兆 (ソラスト)	
	介護事務		2	1・2	前期	水野真理 (ソラスト)	

ユニット	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期間	担 当 者	備考
		必修	選択				
ファッション・ ビューティ	ファッション文化論		2	1・2	後期	小島真代	
	ファッションビジネス論		2	1・2	前期	小島真代	
	ビューティービジネスⅠ		2	1・2	前期	徳差淳子	
	ビューティービジネスⅡ		2	1・2	後期	徳差淳子	
	ネイルケア・ネイルアートⅠ		2	1・2	前期	関 容子・望月美沙	
	ネイルケア・ネイルアートⅡ		2	1・2	後期	関 容子・望月美沙	
	カラーコーディネート(共通)		2	1・2	前期	小島真代	
ライフ・ デザイン	アロマセラピー		2	1・2	前期	関野朋子	
	生活文化論		2	1・2	後期	栗山恵都子	
	生活環境論		2	1・2	後期	栗山恵都子	
	衣食住Ⅰ		2	1・2	後期	栗山恵都子	
	衣食住Ⅱ		2	1・2	後期	栗山恵都子	
	福祉住環境論		2	1・2	前期	栗山恵都子	
	インテリア総論		2	1・2	後期	栗山恵都子	
	カラーコーディネート(共通)		2	1・2	前期	小島真代	
キャリア サポート	フィールドワークⅠ (インターンシップ)		1	1・2	前期集中	伊藤優子	
	フィールドワークⅡ (インターンシップ)		1	1・2		開講せず	
	フィールドワークⅢ (インターンシップ)		1	1・2		開講せず	
	フィールドワークⅣ (地域連携)		1	1・2	前期集中	児玉和人	
	フィールドワークⅤ (地域連携)		1	1・2		開講せず	

現代コミュニケーション学科 履修登録上の注意事項

【一般事項】

- 1 履修登録後は、原則として履修内容の変更は認められません。
- 2 授業科目は、基本的にそれぞれに割り当てられた学年で履修してください。
- 3 授業科目のうちで、A、B、C等の区別のあるものは、そのいずれか一つしか履修できません。
- 4 クラスが指定されている授業科目は、自分が指定された授業科目を履修してください。
- 5 本学及び他の教育施設等での既修得単位が、本学の単位として認定されることがあります。1年次入学後2週間以内に学部事務室まで申し出てください。(入学前の既修得単位の認定)
- 6 卒業要件単位数は、基礎教育科目(16単位以上)、専門教育科目(46単位以上)です。
また、系列ごとに必要単位数を満たす必要があるため、注意してください。

【基礎教育科目】

- 1 単位互換科目について
 - (1) 「フランス語Ⅰ・Ⅱ」、「ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」は原則としてⅠの単位を修得していないとⅡを履修できません。
 - (2) 同「スポーツ実技Ⅰ」及び「スポーツ実技Ⅱ」は、基礎教育科目の健康管理科目として履修可能です。「スポーツ実技Ⅰ」、「スポーツ実技Ⅱ」には履修順序はありません。片方だけの履修も可能です。「スポーツ実技Ⅰ」または「スポーツ実技Ⅱ」で認定されるのはそれぞれ1単位までで、卒業単位として認定されるのは上限2単位です。
- 2 外国の言語と文化について
「外国の言語と文化(中国語)Ⅰ・Ⅱ」、「外国の言語と文化(ハングル)Ⅰ・Ⅱ」についてⅠの単位を修得しないと、Ⅱの授業は履修できません。

【専門教育科目】

- 1 外国人留学生は以下のように、日本語科目を必修の科目に振り替えて履修することができます。「日本語Ⅰ・Ⅱ」の単位認定は「日本語能力試験N2」の合格が必須になります。
 - ・「日本語Ⅰ」→「基礎英語」
 - ・「日本語Ⅱ」→「キャリアプランニング演習」※留学生が「キャリアプランニング演習」を履修したい場合、自由科目となります。
- 2 「フィールドワーク」については、ゼミ等の時間に説明します。
- 3 キャリア科目からは1つのユニットを選択し、原則としてユニット中のすべての科目を履修。不足分を他のユニット科目で充足してください。
- 4 観光 ユニットまたはホテル・ブライダル ユニットを選択した者は、ユニット共通科目「サービス接遇マナー」を必ず履修してください。
- 5 ファッション・ビューティ ユニットまたはホテル・ブライダル ユニットを選択した者は、ユニット共通科目「カラーコーディネート」を必ず履修してください。

現代コミュニケーション学科資格支援科目一覧

授業科目名	資格名称
日本語コミュニケーション	漢字検定
メディア読解法Ⅱ	ニュース時事能力検定
コミュニケーション技法	日本語検定
ファッション文化論	色彩技能パーソナルカラー検定
英検 Basic	実用英語技能検定
TOEIC 英語	TOEIC テスト
Travel English	観光英語検定
Hospitality English	
秘書学概論	秘書検定
秘書学演習	
日商 PC 検定対策演習	日商 PC 検定
ビジネス会計Ⅰ・Ⅱ	簿記検定
地域観光論	旅行業務取扱管理者
観光交通論	
医療事務Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	医療事務管理士技能検定
ホスピタルコンシェルジュ	ホスピタルコンシェルジュ 3 級
調剤事務	調剤事務
介護事務	介護事務
メンタルヘルス	メンタルヘルス・マネジメント検定
エアロビクスⅠ	グループエクササイズインストラクター
エアロビクスⅡ	
ヨガⅠ	
ヨガⅡ	
グループエクササイズ理論	
アロマセラピー	
カラーコーディネート	色彩検定
ファッションビジネス論	ファッションビジネス能力検定 3 級
ビューティービジネスⅠ	JMA セルフメイク検定
ビューティービジネスⅡ	日本メイクアップ技術検定 3 級
ネイルケア・ネイルアートⅠ・Ⅱ	JNEC ネイリスト技能検定 3 級

注) 上記開設科目によって、受験資格が得られる、あるいは受験のための支援を行う。

複数科目にまたがる資格は、両科目を履修する必要がある。

食物栄養学科 (Department of Food Science and Nutrition)

各種履修モデルにおける要件単位数

卒業要件単位数

	必修	選択	展開	
基礎教育科目	4	12	—	16 単位
専門教育科目	27	18	4	49 単位
合 計	31	30	4	65 単位

栄養士資格

	必修	選択	
基礎教育科目	4	12	16 単位
専門教育科目	24	30	54 単位
合 計	28	42	70 単位

栄養士資格とフードスペシャリスト

	必修	選択	展開	
基礎教育科目	4	12	—	16 単位
専門教育科目	24	30	13	67 単位
合 計	28	42	13	83 単位

栄養士資格とフードサイエンティスト

	必修	選択	展開	
基礎教育科目	4	12	—	16 単位
専門教育科目	24	31	9	64 単位
合 計	28	43	9	80 単位

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期間	担 当 者	備考
		必修	選択				
人間の理解	キリスト教学入門	2		1	前期	佐々木謙一	必修4単位選択 12単位以上
	キリスト教と現代	2		1	後期	佐々木謙一	
	文学と人間		2	1・2	後期	芦澤久江	
	音楽と文化		2	1・2	後期	菊池みち子	
	海外文化研究		2	1・2	後期	芦澤久江	
	心理学入門		2	1・2	前期	重森雅嘉	
	失敗の心理学		2	1・2	後期	重森雅嘉	
	ホスピタリティ論		2	1・2	前期	伊藤優子	
自然と社会	静岡の経済		2	1・2	前期	児玉和人	
	生活科学入門		2	1・2	前期	栗山恵都子	
	データの見方		2	1・2	後期	重森雅嘉	
	サイエンスコミュニケーション		2	1・2	前期	重森雅嘉	
	産業・組織心理学		2	1・2	後期	重森雅嘉	
	富士山学		2	1・2	後期集中	オムニバス	
言語表現力	Everyday English I		1	1・2	前期	リチャード	
	Everyday English II		1	1・2	後期	リチャード	
	日本語表現力		2	1・2	前期 後期	村松純光(前期A・後期B)	
	外国の言語と文化(中国語) I		1	1・2	前期	望月裕之	
	外国の言語と文化(中国語) II		1	1・2	後期	望月裕之	
	外国の言語と文化(ハングル) I		1	1・2	前期	朴 鳳順	
	外国の言語と文化(ハングル) II		1	1・2	後期	朴 鳳順	
情報処理	コンピュータ基本演習		2	1	通年	渡邊貴之(A) 服部えり子(B・C)	
健康管理	ヨガ I		1	1・2	前期	佐島明子(JUフィットネスインストラクター)	
	ヨガ II		1	1・2	後期	佐島明子(JUフィットネスインストラクター)	
	エアロビクス I		1	1・2	前期	佐島明子(JUフィットネスインストラクター)	
	エアロビクス II		1	1・2	後期	佐島明子(JUフィットネスインストラクター)	
	グループエクササイズ理論		2	1・2	前期集中	佐島明子(JUフィットネスインストラクター)	
	健康余暇論		2	1・2	前期	赤田信一	
	健康行動学		2	1・2	後期	赤田信一	
	日本茶アドバイザー		2	1・2	前期集中	加納昌彦(日本茶インストラクター)	
	チーズ検定		1	1・2	前期集中	中川麻紀子	
	現代コミュニケーション学科開放科目	日本語コミュニケーション		2	1・2	後期	村松純光
メディア読解法 I			2	1・2	前期	村松純光	
メディア読解法 II			2	1・2	後期	柴田 敏	
コミュニケーション技法			2	1・2	前期	柴田 敏	
TOEIC 英語			2	1・2	後期	マックローリー	
Active English I			2	1・2	前期	リチャード	
Active English II			2	1・2	後期	リチャード	
生活経済学			2	1・2	後期	栗山恵都子	
メンタルヘルス			2	1・2	前期	重森雅嘉	

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期間	担 当 者	備考
		必修	選択				
現代コミュニケーション学科開放科目	秘書学概論		2	1・2	前期	大石雄子	必修 4 単位選択 12 単位以上
	Media English		2	1・2	後期	芦澤久江	
	Writing & Discussion		2	1・2	後期	リチャード	
	ビジネス会計 I		2	1・2	前期	田島泉美	
	ビジネス会計 II		2	1・2	後期	田島泉美	
	経済学		2	1・2	後期	児玉和人	
	経営学入門		2	1・2	前期	児玉和人	
	Hospitality English		2	1・2	前期	リチャード	
	カラーコーディネート		2	1・2	前期	小島真代	
	ファッション文化論		2	1・2	後期	小島真代	
	ブライダルビジネス I		2	1・2	前期	開講せず	
	アロマセラピー		2	1・2	前期	関野朋子	
静岡英和学院大学との単位互換科目	英語リスニング&スピーキング I		1	1・2	前期	ハリントン(A)、クレイナー(B)	必修 4 単位選択 12 単位以上
	英語リスニング&スピーキング II		1	1・2	後期	ハリントン(A)、クレイナー(B)	
	英語ボキャブラリービルディング		1	1・2	後期	ピーターズ	
	フランス語 I		1	1・2	前期	今野喜和人 (A・B)	
	フランス語 II		1	1・2	後期	今野喜和人	
	ドイツ語 I		1	1・2	前期	小柴浩稔	
	ドイツ語 II		1	1・2	後期	小柴浩稔	
	スポーツ実技 I		1	1・2	前期・後期	祝原 豊(バスケットボール A・B)	
					前期・後期	伊藤麻希(ダンス A・B)	
スポーツ実技 II		1	1・2	前期・後期	江間諒一(フィットネス A・B)		
				前期・後期	黒岩一雄(バドミントン A・B)		
静岡大学農学部との単位互換科目	フィールド科学演習 II		1	1	集中		
	先端フィールド科学演習		1	1	集中		

【現代コミュニケーション学科開放科目について】

- ・基礎教育科目の選択科目の単位になります。

【静岡英和学院大学との単位互換科目について】

- ・静岡英和学院大学の授業科目を 8 単位を超えない範囲で履修できます。
- ・基礎教育科目の選択科目の単位になります。

【静岡大学農学部との単位互換科目について】

- ・静岡大学農学部の授業科目を 6 単位まで履修できます。
- ・基礎教育科目の選択科目の単位になります。

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期 間	卒業	栄養士	フードスペ シャリスト 指定科目	フードサイ エンティスト 指定科目	担 当 者
		必修	選択							
必 修 科 目	公衆衛生学概論	2		1	前期	○	○			彭 徳子
	公衆衛生学各論	2		1	後期	○	○			彭 徳子
	生理学	2		1	前期	○	○			庄司 豊
	生化学	2		1	後期	○	○			庄司 豊
	食品学総論	2		1	前期	○	○	○	○	小林直之
	食品学各論	2		1	後期	○	○	○	○	小林直之
	食品衛生学総論	2		1	前期	○	○	○	○	彭 徳子
	食品学実験	1		1	前期	○	○	○	○	小林直之
	基礎栄養学	2		1	前期	○	○	○		望月裕子
	栄養指導論Ⅰ	2		1	前期	○	○			末永美雪
	調理学	2		1	前期	○	○	○		小川ももこ
	調理学実習Ⅰ	1		1	前期	○	○	○		小川ももこ
	調理学実習Ⅱ	1		1	後期	○	○	○		田崎仁美
	食物学基礎実験	1		1	前期	○	○		○	小林直之
	基礎科学Ⅰ	2		1	前期	○				庄司 豊
	キャリアプランニング演習	1		1	後期	○				
選 択 科 目	食品衛生学各論		1	2	前期			○		彭 徳子
	応用栄養学		2	1	後期	○				望月裕子
	社会福祉概論		2	2	後期	○				植田智也
	解剖学		2	1	前期	○				遠藤博之
	病理学		2	2	後期	○				千原幸司・岩井一也・田中敏博
	解剖生理学実験		1	1	後期	○		○		庄司 豊
	生化学実験		1	2	前期	○		○		庄司 豊
	食品衛生学実験		1	2	後期	○		○		彭 徳子
	臨床栄養学概論		2	1	後期	○				久保田美保子
	臨床栄養学各論		2	2	前期	○				新井英一
	応用栄養学実習		1	2	後期	○				片山一男
	臨床栄養学実習		1	2	前期	○				久保田美保子
	栄養指導論Ⅱ		2	2	前期	○				杉本富士子
	公衆栄養学概論		2	2	後期	○				杉本富士子
	栄養指導実習Ⅰ		1	1	後期	○				望月裕子
	栄養指導実習Ⅱ		1	2	前期	○				望月裕子
	給食計画論		1	1	後期	○				田崎仁美
	給食実務論		2	2	前期	○				田崎仁美
	調理学実習Ⅲ		1	2	後期	○				小川ももこ
	調理学実習Ⅳ		1	2	後期	○		○		前田節子
給食管理実習Ⅰ		1	2	前期	○				田崎仁美	
給食管理実習Ⅱ		1	2	前期	○				田崎仁美	

この中から18単位を選択

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期 間	卒業	栄養士	フードスペ シャリスト 指定科目	フードサイ エンティスト 指定科目	担 当 者
		必修	選択							
展 開 科 目	インターンシップ		1	1・2	集中	こ の 中 か ら 4 単 位 を 選 択				開講せず
	校外実習		1	2	集中					開講せず
	基礎科学Ⅱ		2	1	集中					彭 徳子
	運動生理学		2	2	前期			○		江間諒一
	食料経済学		1	2	後期			○		柴垣裕司
	データ解析論		2	2	後期			○	○	山田雅敏
	消費流通論		1	2	後期			○		川島美奈子
	フードスペシャリスト論		2	2	後期			○		小川ももこ
	フードコーディネーター論		1	2	前期			○		齋藤華乃子
	テーブルマネジメント		1	2	後期			○		齋藤華乃子
	食品鑑別演習		1	2	後期			○	○	新井映子
	食品加工学		1	2	後期				○	小林直之
	食品加工学特別実習		1	1	集中					前田節子
	食品加工学フィールド演習		1	1	集中					開講せず
	品質管理学		1	2	後期			○	○	彭 徳子
	商品開発論		1	2	前期				○	小林直之
	特別研修（テーブルマナー）		1	2	集中			○		小川ももこ
	応用微生物学		2	2	後期				○	彭 徳子
バイオテクノロジー		1	2	前期			○	庄司 豊		

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期間	担 当 者	備考
		必修	選択				
人間の理解	キリスト教学入門	2		1	前期	佐々木謙一	必修 4 単位 選択 12 単位以上
	キリスト教と現代	2		1	後期	佐々木謙一	
	文学と人間		2	1・2	後期	芦澤久江	
	音楽と文化		2	1・2	後期	菊池みち子	
	海外文化研究		2	1・2	後期	芦澤久江	
	心理学入門		2	1・2	前期	重森雅嘉	
	失敗の心理学		2	1・2	後期	重森雅嘉	
	ホスピタリティ論		2	1・2	前期	伊藤優子	
自然と社会	静岡の経済		2	1・2	前期	児玉和人	
	生活科学入門		2	1・2	前期	栗山恵都子	
	データの見方		2	1・2	後期	重森雅嘉	
	サイエンスコミュニケーション		2	1・2	前期	重森雅嘉	
	産業・組織心理学		2	1・2	後期	重森雅嘉	
	富士山学		2	1・2	後期集中	オムニバス	
言語表現力	Everyday English I		1	1・2	前期	リチャード	
	Everyday English II		1	1・2	後期	リチャード	
	日本語表現力		2	1・2	前期 後期	村松純光 (前期A・後期B)	
	外国の言語と文化 (中国語) I		1	1・2	前期	望月裕之	
	外国の言語と文化 (中国語) II		1	1・2	後期	望月裕之	
	外国の言語と文化 (ハングル) I		1	1・2	前期	朴 鳳順	
	外国の言語と文化 (ハングル) II		1	1・2	後期	朴 鳳順	
情報処理	コンピュータ基本演習		2	1	通年	渡邊貴之 (A) 服部えり子 (B・C)	
健康管理	ヨガ I		1	1・2	前期	佐島明子 (JU フィットネスインストラクター)	
	ヨガ II		1	1・2	後期	佐島明子 (JU フィットネスインストラクター)	
	エアロビクス I		1	1・2	前期	佐島明子 (JU フィットネスインストラクター)	
	エアロビクス II		1	1・2	後期	佐島明子 (JU フィットネスインストラクター)	
	グループエクササイズ理論		2	1・2	前期集中	佐島明子 (JU フィットネスインストラクター)	
	健康余暇論		2	1・2	前期	赤田信一	
	健康行動学		2	1・2	後期	赤田信一	
	日本茶アドバイザー		2	1・2	前期集中	加納昌彦 (日本茶インストラクター)	
	チーズ検定		1	1・2	前期集中	中川麻紀子	
	現代コミュニケーション学科開放科目	日本語コミュニケーション		2	1・2	後期	村松純光
日本語活用術			2	1・2	前期	村松純光	
現代文化の中の日本語			2	1・2	後期	村松純光	
メディア読解法 I			2	1・2	前期	柴田 敏	
メディア読解法 II			2	1・2	後期	村松純光	
コミュニケーション技法			2	1・2	前期	柴田 敏	
TOEIC 英語			2	1・2	後期	マックローリー	
Active English I			2	1・2	前期	リチャード	
Active English II			2	1・2	後期	リチャード	
生活経済学			2	1・2	後期	栗山恵都子	
メンタルヘルス			2	1・2	前期	重森雅嘉	

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期 間	担 当 者	備 考
		必修	選択				
現代コミュニケーション学科開放科目	秘書学概論		2	1・2	前期	大石雄子	必修 4 単位選択 12 単位以上
	Media English		2	1・2	後期	芦澤久江	
	Writing & Discussion		2	1・2	後期	リチャード	
	ビジネス会計 I		2	1・2	前期	田島泉美	
	ビジネス会計 II		2	1・2	後期	田島泉美	
	経済学		2	1・2	後期	児玉和人	
	経営学入門		2	1・2	前期	児玉和人	
	Hospitality English		2	1・2	前期	リチャード	
	カラーコーディネート		2	1・2	前期	小島真代	
	ファッション文化論		2	1・2	後期	小島真代	
	ブライダルビジネス I		2	1・2	前期	開講せず	
	アロマセラピー		2	1・2	前期	関野朋子	
静岡英和学院大学との単位互換科目	英語リスニング&スピーキング I		1	1・2	前期	ハリントン(A)、クレイナー(B)	必修 4 単位選択 12 単位以上
	英語リスニング&スピーキング II		1	1・2	後期	ハリントン(A)、クレイナー(B)	
	英語ボキャブラリービルディング		1	1・2	後期	ピーターズ	
	フランス語 I		1	1・2	前期	今野喜和人 (A・B)	
	フランス語 II		1	1・2	後期	今野喜和人	
	ドイツ語 I		1	1・2	前期	小柴浩稔	
	ドイツ語 II		1	1・2	後期	小柴浩稔	
	スポーツ実技 I		1	1・2	前期・後期	祝原 豊(バスケットボール A・B)	
					前期・後期	伊藤麻希(ダンス A・B)	
スポーツ実技 II		1	1・2	前期・後期	江間諒一(フィットネス A・B)		
				前期・後期	黒岩一雄(バドミントン A・B)		
静岡大学農学部との単位互換科目	フィールド科学演習 II		1	1	集中		
	先端フィールド科学演習		1	1	集中		

【現代コミュニケーション学科開放科目について】

- ・基礎教育科目の選択科目の単位になります。

【静岡英和学院大学との単位互換科目について】

- ・静岡英和学院大学の授業科目を 8 単位を超えない範囲で履修できます。
- ・基礎教育科目の選択科目の単位になります。

【静岡大学農学部との単位互換科目について】

- ・静岡大学農学部の授業科目を 6 単位まで履修できます。
- ・基礎教育科目の選択科目の単位になります。

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期 間	卒業	栄養士	フードスペ シャリスト 指定科目	フードサイ エンティスト 指定科目	担 当 者
		必修	選択							
必 修 科 目	公衆衛生学概論	2		1	前期	○	○			彭 徳子
	公衆衛生学各論	2		1	後期	○	○			彭 徳子
	生理学	2		1	前期	○	○			庄司 豊
	生化学	2		1	後期	○	○			庄司 豊
	食品学総論	2		1	前期	○	○	○	○	小林直之
	食品学各論	2		1	後期	○	○	○	○	小林直之
	食品衛生学総論	2		1	前期	○	○	○	○	彭 徳子
	食品学実験	1		1	前期	○	○	○	○	小林直之
	基礎栄養学	2		1	前期	○	○	○		望月裕子
	栄養指導論Ⅰ	2		1	前期	○	○			末永美雪
	調理学	2		1	前期	○	○	○		小川ももこ
	調理学実習Ⅰ	1		1	前期	○	○	○		小川ももこ
	調理学実習Ⅱ	1		1	後期	○	○	○		田崎仁美
	食物学基礎実験	1		1	前期	○	○		○	小林直之
	基礎科学Ⅰ	2		1	前期	○				庄司 豊
	キャリアプランニング演習	1		1	後期	○				
選 択 科 目	食品衛生学各論		1	2	前期			○		彭 徳子
	応用栄養学		2	1	後期	○				望月裕子
	社会福祉概論		2	2	後期	○				植田智也
	解剖学		2	1	前期	○				遠藤博之
	病理学		2	2	後期	○				千原幸司・岩井一也・田中敏博
	解剖生理学実験		1	1	後期	○		○		庄司 豊
	生化学実験		1	2	前期	○		○		庄司 豊
	食品衛生学実験		1	2	後期	○		○		彭 徳子
	臨床栄養学概論		2	1	後期	○				久保田美保子
	臨床栄養学各論		2	2	前期	○				新井英一
	応用栄養学実習		1	2	後期	○				片山一男
	臨床栄養学実習		1	2	前期	○				久保田美保子
	栄養指導論Ⅱ		2	2	前期	○				杉本富士子
	公衆栄養学概論		2	2	後期	○				杉本富士子
	栄養指導実習Ⅰ		1	1	後期	○				望月裕子
	栄養指導実習Ⅱ		1	2	前期	○				望月裕子
	給食計画論		1	1	後期	○				田崎仁美
	給食実務論		2	2	前期	○				田崎仁美
	調理学実習Ⅲ		1	2	後期	○				小川ももこ
	調理学実習Ⅳ		1	2	後期	○		○		前田節子
給食管理実習Ⅰ		1	2	前期	○				田崎仁美	
給食管理実習Ⅱ		1	2	前期	○				田崎仁美	

この中から18単位を選択

	授 業 科 目	単位数		開講 学年	期 間	卒業	栄養士	フードスペ シャリスト 指定科目	フードサイ エンティスト 指定科目	担 当 者
		必修	選択							
展 開 科 目	インターンシップ		1	1・2	集中	こ の 中 か ら 4 単 位 を 選 択				開講せず
	校外実習		1	2	集中					開講せず
	基礎科学Ⅱ		2	1	集中					彭 徳子
	運動生理学		2	2	前期			○		江間諒一
	食料経済学		1	2	後期			○		柴垣裕司
	データ解析論		2	2	後期			○	○	山田雅敏
	消費流通論		1	2	後期			○		川島美奈子
	フードスペシャリスト論		2	2	後期			○		小川ももこ
	フードコーディネーター論		1	2	前期			○		齋藤華乃子
	テーブルマネジメント		1	2	後期			○		齋藤華乃子
	食品鑑別演習		1	2	後期			○	○	新井映子
	食品加工学		1	2	後期				○	小林直之
	食品加工学特別実習		1	1	集中					前田節子
	食品加工学フィールド演習		1	1	集中					開講せず
	品質管理学		1	2	後期			○	○	彭 徳子
	商品開発論		1	2	前期				○	小林直之
	特別研修（テーブルマナー）		1	2	集中			○		小川ももこ
	応用微生物学		2	2	後期				○	彭 徳子
バイオテクノロジー		1	2	前期			○	庄司 豊		

食物栄養学科 履修登録上の注意事項

【一般事項】

- 1 履修登録後は、原則として履修内容の変更は認められません。
- 2 授業科目は、基本的にそれぞれに割り当てられた学年で履修してください。
- 3 授業科目のうちで、A、B、C等の区別のあるものは、そのいずれか一つしか履修できません。
- 4 クラスが指定されている授業科目は、自分が指定された授業科目を履修してください。
- 5 本学及び他の教育施設等での既修得単位が、本学の単位として認定されることがあります。1年次入学後2週間以内に学部事務室まで申し出てください。(入学前の既修得単位の認定)
- 6 卒業要件単位数は、基礎教育科目(16単位以上)、専門教育科目(49単位以上)です。
また、系列ごとに必要単位数を満たす必要があるため、注意してください。

【基礎教育科目】

- 1 単位互換科目について
 - (1) 「フランス語Ⅰ・Ⅱ」、「ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」は原則としてⅠの単位を修得していないとⅡを履修できません。
 - (2) 同「スポーツ実技Ⅰ」及び「スポーツ実技Ⅱ」は、基礎教育科目の健康管理科目として履修可能です。「スポーツ実技Ⅰ」、「スポーツ実技Ⅱ」には履修順序はありません。片方だけの履修も可能です。「スポーツ実技Ⅰ」または「スポーツ実技Ⅱ」で認定されるのはそれぞれ1単位までで、卒業単位として認定されるのは上限2単位です。
- 2 外国の言語と文化について
「外国の言語と文化(中国語)Ⅰ・Ⅱ」、「外国の言語と文化(ハンゲル)Ⅰ・Ⅱ」についてⅠの単位を修得しないと、Ⅱの授業は履修できません。

【専門教育科目】

- 1 選択科目のうち18単位以上、展開科目のうち4単位以上を修得すること。
- 2 2コマ連続、3コマ連続授業は、全ての時限の授業を受けて単位が認定されます。

コース選択について

食物栄養学科では 2009 年度より、栄養士養成に加えて、次の2つのコースを設定しております。

栄養士・フードスペシャリストコース

栄養士・フードサイエンティストコース

それぞれのコースの所定の単位を取得すれば、卒業時に、栄養士資格のほかフードスペシャリスト認定試験受験資格または食品科学技術認定（フードサイエンティスト）資格が得られます。ただし、フードスペシャリスト認定試験は2年次12月に受験可能であり、合格者には卒業時に資格が与えられます。

コース分けは1年次の後期後半に実施し、2年次で選択したコースの指定科目（展開科目）を履修することになります。

展開科目については、コースごとに履修モデルを設定してありますが、時間割上余裕があれば、もう一方のコースの指定科目を選択することもできます。

また、フードサイエンティスト取得のためには、本学科所定の単位取得に加え、「協会認定特別講習」（1コマ）を受講し、協会へのレポート提出が必要です。

フードスペシャリストの受験資格と履修科目について

フードスペシャリスト認定資格の受験資格取得と本学科における科目構成

フードスペシャリストとは社団法人フードスペシャリスト協会が認定した大学・短期大学のフードスペシャリスト養成課程において所定の単位の修得（見込みを含む）した上、毎年1回実施されるフードスペシャリスト資格認定試験に合格・申請すると、卒業時に、フードスペシャリスト資格認定証が交付され、フードスペシャリストとなります。

本学科において、2年生になるときに栄養士・フードスペシャリストコースを選択したものでフードスペシャリスト認定資格に関する科目として18科目（26単位）を修得する必要があります。

フードスペシャリスト養成科目

フードスペシャリスト養成	科 目 名	単 位 数			学年
		必修	選択	展開	
フードスペシャリスト論	フードスペシャリスト論			2	2
食品の官能評価・鑑別論	食品鑑別演習			1	2
	データ解析論			2	2
食物学に関する科目	食品学総論	2			1
	食品学各論	2			1
	食品学実験	1			1
食品の安全性に関する科目	食品衛生学総論	2			1
	品質管理学			1	2
調理学に関する科目	調理学	2			1
	調理学実習Ⅰ	1			1
	調理学実習Ⅱ	1			1
栄養と健康に関する科目	基礎栄養学	2			1
	運動生理学			2	2
食品流通・消費に関する科目	食料経済学			1	2
	消費流通論			1	2
フードコーディネータ論	フードコーディネータ論			1	2
	テーブルマナー			1	2
特別研修	特別研修（テーブルマナー）			1	2

フードサイエンティスト認定資格取得と履修科目について

フードサイエンティスト取得と本学科における科目構成

フードサイエンティスト（食品科学技術認定証）は食品科学教育協議会が認定する資格であり、本学における所定の単位を取得並びに協会認定特別講習の受講と協会へのレポートを提出した場合、卒業時において本協会より資格が与えられます。

本学科において、2年生になるときに栄養士・フードサイエンティストコースを選択したものでフードサイエンティスト認定資格に関する科目として17科目（22単位）を修得する必要があります。

フードサイエンティスト養成科目

フードサイエンティスト養成		科 目 名	単 位 数			学年
			必修	選択	展開	
基礎 必修 科目	食 品 科 学 分 野	食品学総論	2			1
		食品学各論	2			1
		食品加工学			1	2
		食物学基礎実験	1			1
		食品学実験	1			1
	食 品 微 生 物 学 分 野	食品衛生学総論	2			1
		食品衛生学各論		1		2
		食品衛生学実験		1		2
		応用微生物学			2	2
	特 別 研 修	品質管理学			1	2
商品開発論				1	2	
バイオテクノロジー				1	2	
データ解析論				2	2	
調理学実習Ⅳ			1		2	
生化学実験			1		2	
解剖生理学実験			1		1	
食品鑑別演習				1	2	

*協会認定特別講習（学内）を受講する必要があります。

栄養士免許状申請手続きについて

1 栄養士とは

- (1) 栄養士とは、都道府県知事の免許を受けて、栄養士の名称を用いて栄養の指導に従事することを業とする者をいいます。(栄養士法第1条第1項)
- (2) 栄養士免許状を取得するには、卒業要件単位に加え栄養士必修科目の単位を取得しなければなりません。

2 免許状申請に必要な書類

- (1) 卒業証明書
- (2) 栄養士課程履修証明書
- (3) 栄養士免許申請書
- (4) 戸籍謄本又は戸籍抄本（6ヶ月以内に交付されたもの）もしくは本籍地の記載のある住民票（マイナンバーの記載のないもの）
- (5) 県収入証紙（2022年度は5,600円）

3 提出場所

住所地（住民票のある地）を管轄する保健所（支所を含む）

4 申請期間

卒業式後にできれば3月中に申請してください。4月以降に申請する場合は、戸籍謄本等の有効期限に注意してください。

5 注意事項

- (1) 栄養士免許の申請は、住所地を管轄する県の保健所で申請してください。
- (2) 卒業式以降に、できれば3月中に行くこと。4月以降に申請する場合は、有効期限（戸籍謄本戸籍抄本は6ヶ月以内）に注意してください。
- (3) 卒業証明書、栄養士課程履修証明書は特に期限はありませんが、できるだけ新しいものを用意してください。
- (4) 県収入証紙は、静岡県庁の売店、または保健所でも購入できます。
- (5) 栄養士免許状は、原則保健所において手渡しとなります。受け取りにかかる日数は、申請をしてから約1ヶ月後となります。各保健所で確認して下さい。

栄養士免許状申請静岡県内保健所窓口（2021年4月現在）

保健所名	課、支所名等	管内市町・区名	郵便番号	住 所	電話番号
賀 茂	健康増進課	下田市	415-0016	下田市中 531-1	0558-24-2037
		東伊豆町			
		河津町			
		南伊豆町			
		松崎町			
		西伊豆町			
熱 海	医療健康課	熱海市	413-0016	熱海市水口町 13-15	0557-82-9126
		伊東市			
東 部	健康増進課	沼津市	410-8543	沼津市高島本町 1-3	055-920-2112
		三島市			
		裾野市			
		伊豆の国市			
		函南町			
		清水町			
	長泉町				
修善寺支所	伊豆市	410-2413	伊豆市小立野 66-1	0558-72-2310	
御 殿 場	医療健康課	御殿場市	412-0039	御殿場市竈 1113	0550-82-1224
		小山町			
富 士	医療健康課	富士市	416-0906	富士市本市場 441-1	0545-65-2151
		富士宮市			
中 部	健康増進課	島田市	426-0075	藤枝市瀬戸新屋 362-1	054-644-9280
		焼津市			
		藤枝市			
		川根本町			
	榛原分庁舎	牧之原市	421-0422	牧之原市静波 447-1	0548-22-1151
吉田町					
西 部	健康増進課	磐田市	438-8622	磐田市見付 3599-4	0538-37-2583
		袋井市			
		森町			
	掛川支所	掛川市	436-0073	掛川市金城 93	0537-22-3263
		御前崎市			
		菊川市			
浜名分庁舎	湖西市	431-0302	湖西市新居町新居 3447	053-594-3661	
静 岡 市	生活衛生課	静岡市	420-0846	静岡市葵区城東町 24-1	054-249-3159
	清水支所		424-0806	静岡市清水区旭町 6-8	054-354-2214
浜 松 市	生活衛生課	浜松市	432-8550	浜松市中区鴨江 2-11-2	053-453-6114
	浜北支所		434-8550	浜松市浜北区貴布祢 3000	053-585-1398